



取 付 説 明 書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。
取付けは必ず専門業者に依頼してください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商品名	G T 2 スーパーチャージャーシステム プロキット
用途	自動車専用部品
コードNo.	12001-AN009
取付説明書品番	E04215-N53193-00 Ver. 3-3.04
メーカー車種	ニッサン フェアレディ Z (UA-Z33・CBA-Z33)
エンジン型式	VQ35DE
対応年式	2002/07～2007/01
備考	○本製品を使用時のエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。 ○本キットにはHKS GT2スーパーチャージャー本体保証が適用されます。 ○エンジンオイルは高温粘度 40 以上を推奨します。

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2018/05	初版
3-3.02	2019/02	誤記修正
3-3.03	2021/07	交換部品の内容変更
3-3.04	2022/12	記載事項変更

2022 年 12 月 19 日発行 (禁無断複写、転載) ㈱エッチ・ケー・エス

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	1
パーツリスト	2
1. 取付け作業の準備	4
2. ノーマルパーツの取外し	5
3. ノーマルパーツの移動・交換・加工	7
4. S/C ブラケットの取付け	11
5. スーパーチャージャーの取付け	14
6. アイドラプリーの取付け	17
7. インタークーラーの取付け	19
8. インタークーラーパイプの取付け①	21
9. トラクションフルードタンク・フルードクーラーコアの取付け	23
10. インタークーラーパイプの取付け②	29
11. トラクションフルードの注入	31
12. エアクリーナの取付け	32
13. ベルトの取付け	34
14. ノーマルパーツの取付け	36
15. 取付け後の確認	37
16. 1ヶ月点検の実施	39
17. 維持・管理	40
18. 故障と判断する前に	41
19. ベルトが切れてしまった場合	42

はじめに

この度は、HKS GT2スーパーチャージャーシステムをお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。

取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。

本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解した上で作業を行なってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業者又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

パーツリスト

No.1

連番	品名	数量	連番	品名	数量
1	GT2-7040	1	40	パイプ No.3	1
2	S/C プーリー(φ95)	1	41	パイプ No.4	1
3	フルードクーラーコア	1	42	パイプ No.5	1
4	フィッティング	2	43	スペーサ No.4 (φ14-φ6.5-L35)	1
5	インタークーラー	1	44	スペーサ No.5 (φ14-φ6.5-L18)	2
6	フルードタンク	1	45	スペーサ No.6 (φ10-φ4-t2)	2
7	トラクションフルード	1	46	ガasket	1
8	S/C ブラケット No.1	1	47	ホース Assy φ10 L2500	1
9	S/C ブラケット No.2	1	48	ホース φ8 L3000	1
10	スペーサ No.1 (φ14-φ6.5-L14.8)	7	49	ホース φ16 L150	1
11	スペーサ No.2 (φ12-φ6.5-L57.8)	1	50	ホース φ22 L70	1
12	スペーサ No.3 (φ14-φ6.5-L39.8)	1	51	ホースクランプ φ13.0	4
13	アイドラプーリーNo.2(φ108)	1	52	ホースクランプ φ15.5	3
14	アイドラプーリーNo.1(φ115-φ102)	1	53	ホースクランプ φ23.0	2
15	ベアリング Assy	1	54	シリコンホース φ70 L55	1
16	テンショナプーリー(φ84)	1	55	シリコンホース φ80-φ60	1
17	テンショナスペーサ	1	56	シリコンホース φ70 L20	2
18	テンショナシャフト	1	57	シリコンホース φ60 L70	2
19	テンショナアジャスター	1	58	シリコンホース φ60-φ50	1
20	テンショナボルト	1	59	シリコンホース φ50 L70	2
21	ベルト 6PK 1700	1	60	ホース φ4 L1000	1
22	ベルト 7PK 1060	1	61	六角ボルト M8 L20	3
23	エアクリーナ	1	62	六角ボルト M10 L110	1
24	ブラケット No.1	1	63	キャップボルト M4 L12	2
25	ブラケット No.2	1	64	キャップボルト M6 L12	5
26	ブラケット No.3	1	65	キャップボルト M6 L15	10
27	ブラケット No.4	1	66	キャップボルト M6 L18	5
28	ブラケット No.5	2	67	キャップボルト M6 L20	5
29	ブラケット No.6	1	68	キャップボルト M6 L30	1
30	ブラケット No.7	1	69	キャップボルト M6 L40	1
31	ブラケット No.8	1	70	キャップボルト M6 L50	1
32	ブラケット No.9	1	71	キャップボルト M6 L100	3
33	ブラケット No.10	1	72	キャップボルト M8 L12	2
34	ブラケット No.11	1	73	キャップボルト M8 L25	5
35	ブラケット No.12	1	74	キャップボルト M8 L35	3
36	ブラケット No.13	2	75	キャップボルト M12 L120	1
37	ブラケット No.14	1	76	低頭キャップボルト M6 L12	5
38	パイプ No.1	1	77	ボタンボルト M6 L15	2
39	パイプ No.2	1	78	ボタンボルト M6 L60	6

パーツリスト

No.2

連番	品名	数量
79	ホースバンド #16	2
80	ホースバンド #28	7
81	ホースバンド #36	6
82	ホースバンド #40	2
83	ホースバンド #48	4
84	フランジ付きナット M6	20
85	フランジ付きナット M10	1
86	プレーンワッシャ M6 大径	5
87	プレーンワッシャ M6	30
88	プレーンワッシャ M8	15
89	プレーンワッシャ M10	1
90	プレーンワッシャ M12	1
91	リリーフバルブ Assy	1
92	インシュレータラバー	2
93	ジョイントパイプ φ16	1
94	コルゲートチューブ	1
95	タイラップ(大)	20
96	タイラップ(中)	30
97	タイラップ(小)	30
98	取付説明書(本書)	1
99	取扱説明書/保証書	1

※ボルト・ナット・ワッシャは余分に入っているものもあります。余分はスペアパーツとして使用してください。

1. 取付け作業の準備

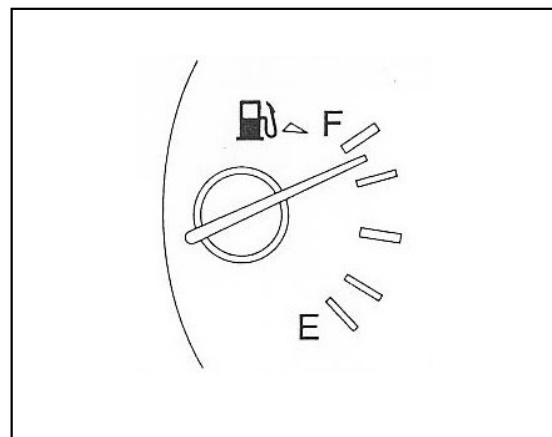
整備要領書に従って作業を行なってください。

アドバイス

- 燃料ポンプの交換作業を同時に行う場合は、水平な場所で燃料の残量を確認し、ゲージの表示が左図の指針以上(残量が 7/8 以上)にある場合(満タンまたは満タンに近い状態)は、指針以下(残量が 7/8 以下)になるまでフューエルタンクから燃料を抜取ってください。

アドバイス

- ・燃料満タン時は液面がフューエルポンプ Assy 取付け面より上にあるため、上記作業を行わないと燃料が流出します。



- インジェクタの交換作業を伴う場合は、整備要領書に従い、燃圧の除去を行なってください。



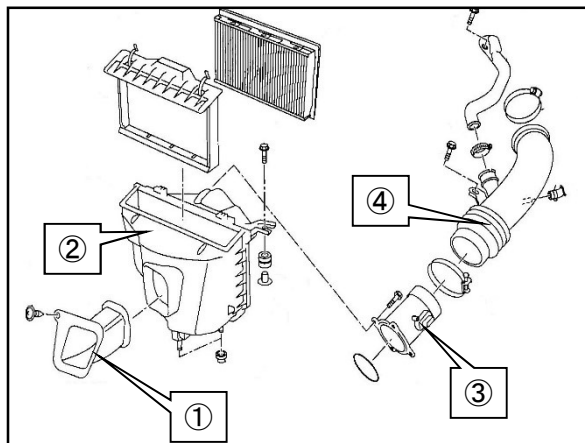
警告

- ・燃料ポンプやインジェクタの交換作業を行なう際は、必ず整備要領書に従ってください。
- ・ガソリンが飛散し、目に損傷を負う恐れ及び車両火災発生の恐れがあります。

- (1) バッテリーのマイナス端子接続を取外してください。

2. ノーマルパーツの取外し

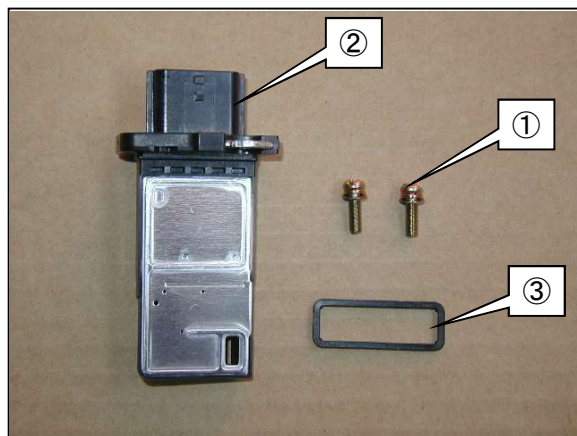
- (1) エンジンアンダーカバーを取外してください。
- (2) エンジンカバーを取外してください。
- (3) ①のエアダクト, ②エアクリーナ, ③エアフロメータ,
④エアホースを取外してください。



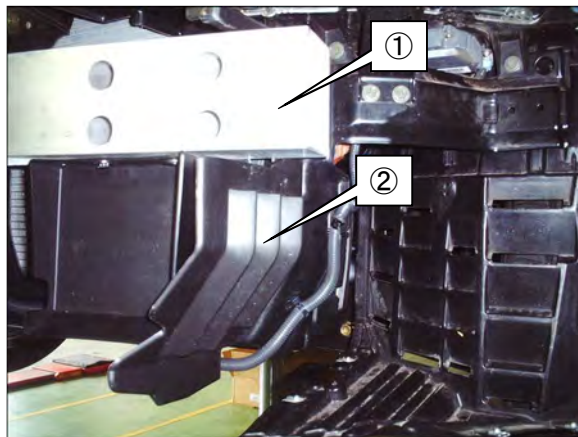
- (4) (3) で外したエアフロメータから、①スクリュ,
②センサ部, ③ゴムパッキンを取外してください。

アドバイス

- ・ ①スクリュ, ②センサ部, ③ゴムパッキンは再使用します。



- (5) バンパを取外してください。
- (6) ①のバンパレインフォースを取外してください。
- (7) ②のエアダクトカバー(左)を取外してください。

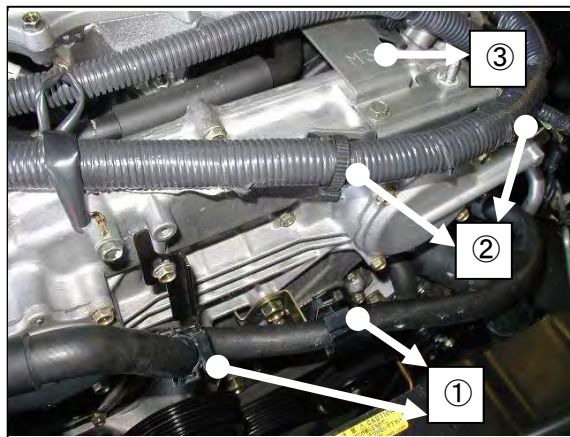


- (8) ①のホースクリップを取外してください。

アドバイス

- ・ ①のホースクリップは再使用します。

- (9) ②のハーネスクランプ, ③のハーネスステーを取外してください。

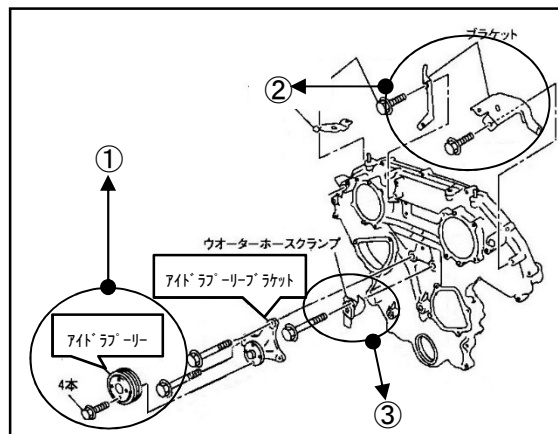


- (10) ①アイドラプーリーのボルト M6 (4 本) をゆるめて
ください。

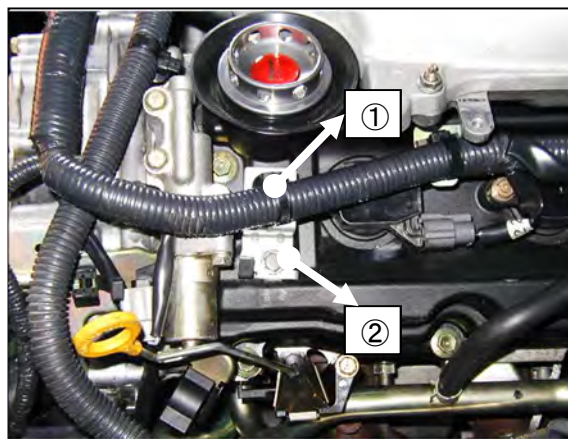
アドバイス

- ・パワステポンプベルトをゆるめる前に作業を行なって
ください。

- (11) オルタネータ パワステポンプベルトを取外して
ください。(6 リブ)
- (12) ①のアイドラプーリーを取外してください。
- (13) ②のブラケット (2 個) を取外してください。
- (14) ③のウォーターホースクランプを取外してください。



- (15) 図中①のハーネスクランプを取外してください。
- (16) 図中②のハーネスステーを取外してください。

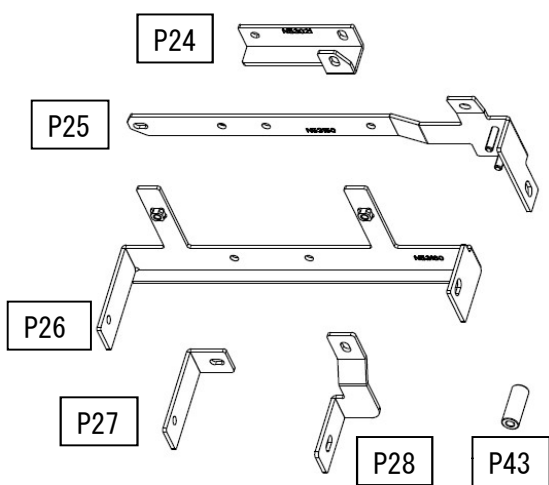


3. ノーマルパーツの移動・交換・加工



パーツリスト

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P13	アイドラプリーNo.2 (φ108)	1	
P24	ブラケットNo.1	1	
P25	ブラケットNo.2	1	
P26	ブラケットNo.3	1	
P27	ブラケットNo.4	1	
P28	ブラケットNo.5	1	
P43	スペーサ No.4 (φ14-φ6.5-L35)	1	
P62	六角ボルト M10 L110	1	
P66	キャップボルト M6 L18	1	
P70	キャップボルト M6 L50	1	
P84	フランジ付きナット M6	2	
P87	プレーンワッシャ M6	2	
P94	コルゲートチューブ	1	
P95	タイラップ(大)		
P96	タイラップ(中)		
P97	タイラップ(小)		

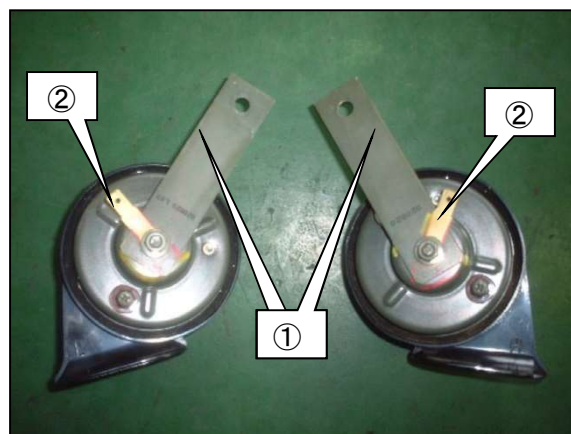


(1) ホーン(2個)を取外してください。

アドバイス

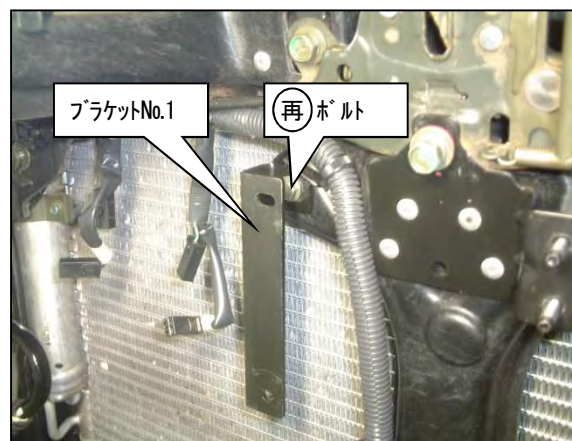
- ・ ホーン取付けの際にプラスとマイナスを間違えないよう端子とカプラにマーキングをしてください。接続を誤ると過電流によりホーンのヒューズが切れます。

(2) ①のステーと②の端子の向きを変更してください。



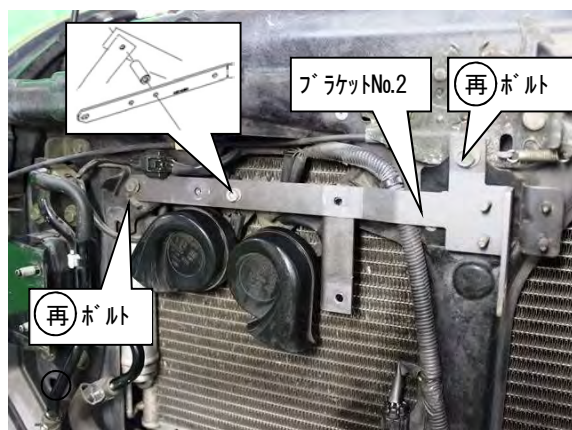
- (3) ブラケットNo.1 を左側ホーンの取付け位置へ取付けてください。

- ・ ブラケットNo.1 (P24)
- ・ ボルト (純正)



- (4) ブラケットNo.2 にホーンを取付けてください。

- ・ ブラケットNo.2 (P25)
- ・ スペーサ No.4 (φ14-φ6.5-L35) (P43)
- ・ キャップボルト M6 L50 (P70)
- ・ フランジ付きナット M6 (P84)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87)
- ・ ボルト (純正)

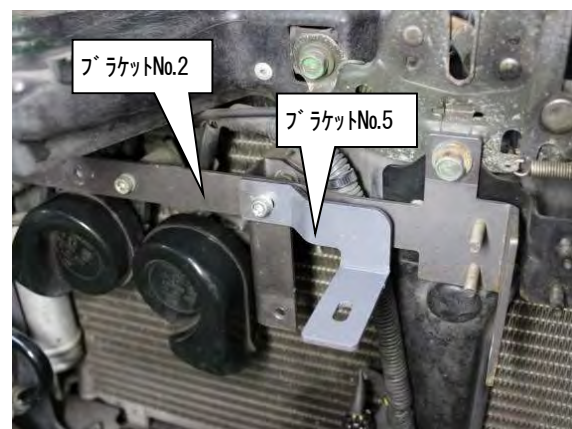


- (5) ブラケットNo.2 を車両に取付けてください。

- ・ ボルト (純正)

- (6) ブラケットNo.5 をブラケットNo.2 へ取付けてください。

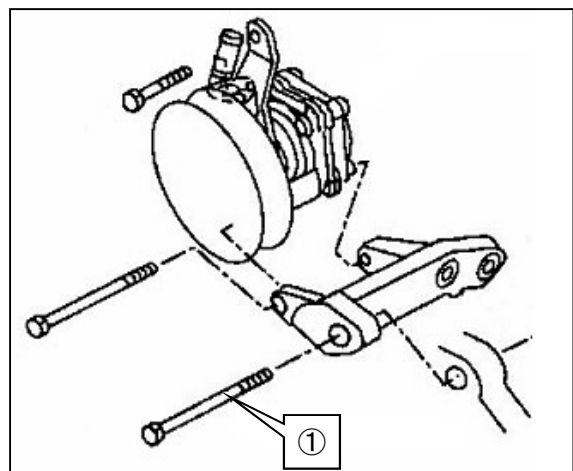
- ・ ブラケットNo.5 (P28)
- ・ キャップボルト M6 L18 (P66)
- ・ フランジ付きナット M6 (P84)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87)



- (7) ①のパワステポンプブラケットの純正ボルトを六角ボルト M10 L110 に交換してください。

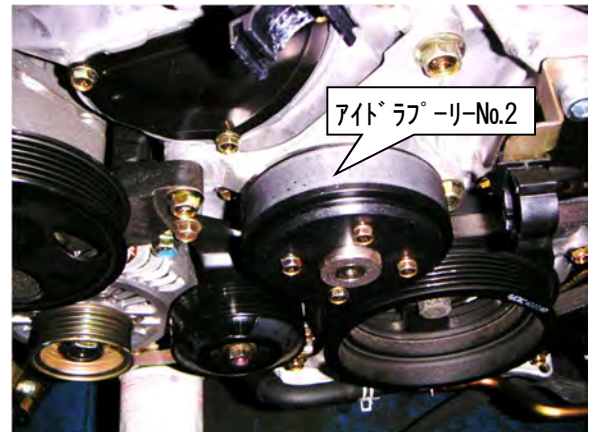
- ・ 六角ボルト M10 L110 (P62)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=53.9(5.5)



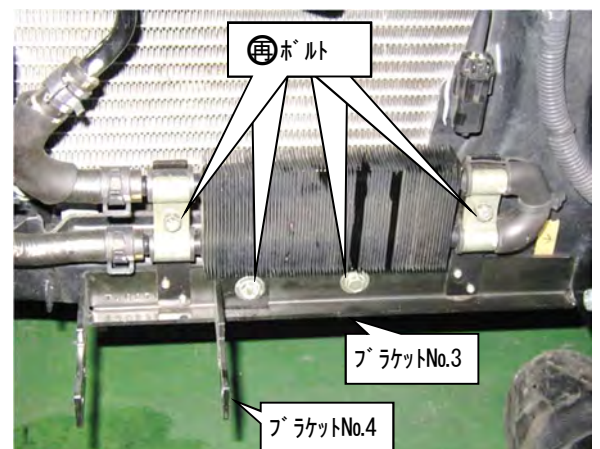
(8) アイドラプーリーNo.2 を前章 2. (12) で取外したアイドラプーリーの代わりに、アイドラプーリーブラケットへ仮付けしてください。

- ・ アイドラプーリーNo.2 (φ108) (P13)
- ・ ボルト (純正)

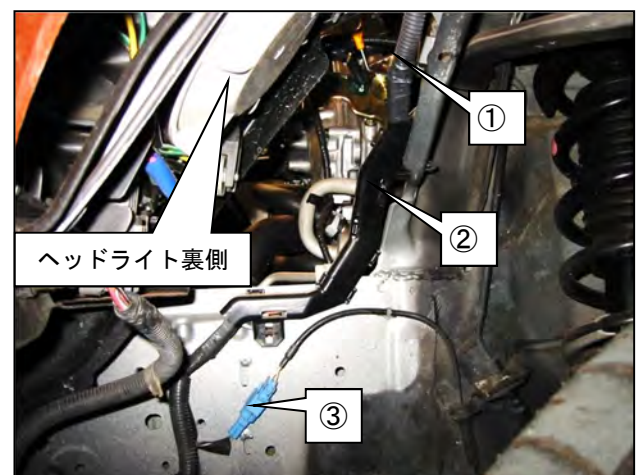
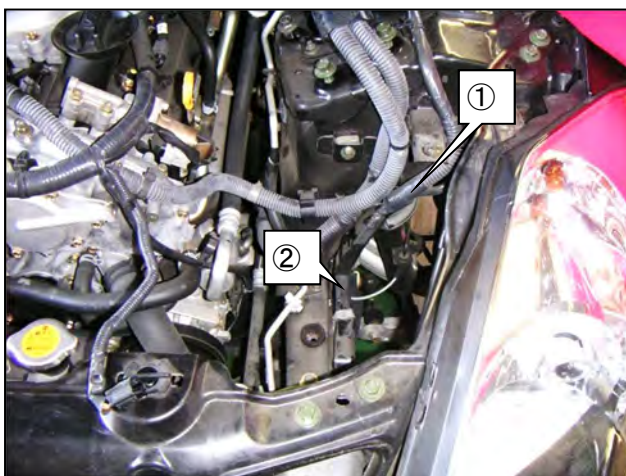


(9) ブラケットNo.3, ブラケットNo.4 を取付け、パワステフルードクーラーを移動してください。

- ・ ブラケットNo.3 (P26)
- ・ ブラケットNo.4 (P27)

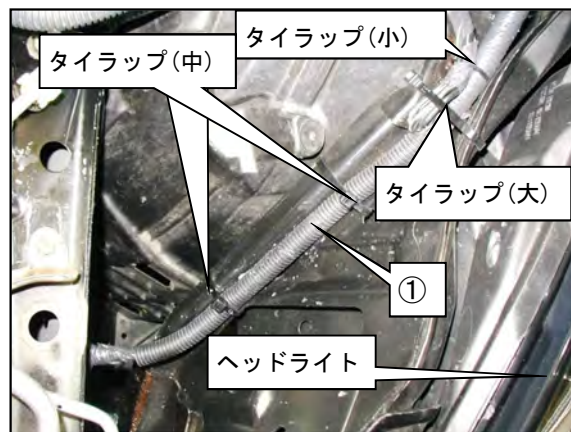


- (10) ①のハーネスから②のハーネスカバーを取外してください。
(11) 車両に固定されている③のカプラを、車両から取外してください。

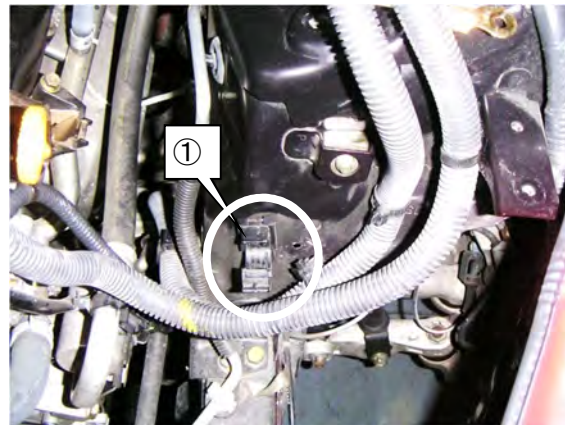


(12) ①の純正ハーネスにコルゲートチューブをかぶせ、
左側ヘッドライト下のパネルに固定させてください。

- ・コルゲートチューブ (P94)
- ・タイラップ(大) (P95)
- ・タイラップ(中) (P96)
- ・タイラップ(小) (P97)



(13) ①の純正ハーネスのクリップを取外してください。

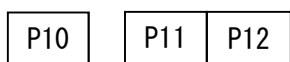
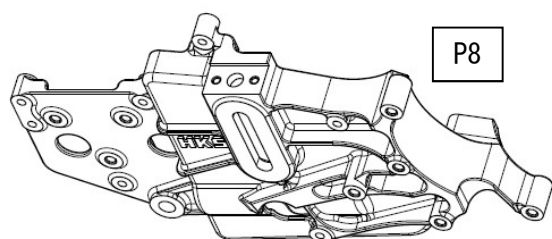


4. S/C ブラケットの取付け



パーツリスト

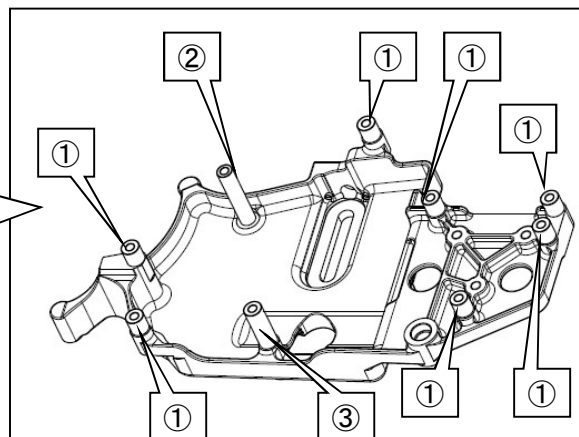
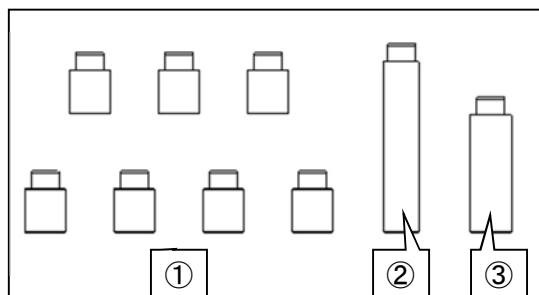
パーツリスト			
No.	品名	数量	
P8	S/C ブラケット No.1	1	
P10	スペーサ No.1 (φ14-φ6.5-L14.8)	7	
P11	スペーサ No.2 (φ12-φ6.5-L57.8)	1	
P12	スペーサ No.3 (φ14-φ6.5-L39.8)	1	
P16	テンシヨナプーリー (φ84)	1	
P17	テンシヨナスペーサ	1	
P18	テンシヨナシャフト	1	
P19	テンシヨナアジャスター	1	
P20	テンシヨナボルト	1	
P29	ブラケットNo.6	1	
P30	ブラケットNo.7	1	
P71	キャップボルト M6 L100	3	
P75	キャップボルト M12 L120	1	
P77	ボタンボルト M6 L15	2	
P78	ボタンボルト M6 L60	6	
P85	フランジ付きナット M10	1	
P87	プレーンワッシャ M6	9	
P89	プレーンワッシャ M10	1	
P90	プレーンワッシャ M12	1	



P16 P17 P20 P18 P19

(1) S/C ブラケットNo.1 にスペーサを圧入してください。

- ・ S/C ブラケットNo.1 (P8)
- ・ スペーサ No.1 (φ14-φ6.5-L14.8) (P10×7)
- ・ スペーサ No.2 (φ12-φ6.5-L57.8) (P11)
- ・ スペーサ No.3 (φ14-φ6.5-L39.8) (P12)

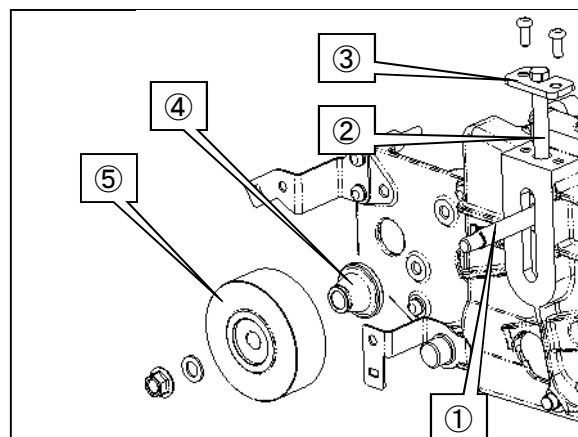


(2) ①のテンショナシャフト, ②のテンショナボルト, ③のテンショナアジャスターを取付けてください。

- ・ テンショナシャフト (P18)
- ・ テンショナアジャスター (P19)
- ・ テンショナボルト (P20)
- ・ ボタンボルト M6 L15 (P77×2)

(3) ④のテンショナスペーサ, ⑤のテンショナプーリーを①のテンショナシャフトへ仮付けしてください。

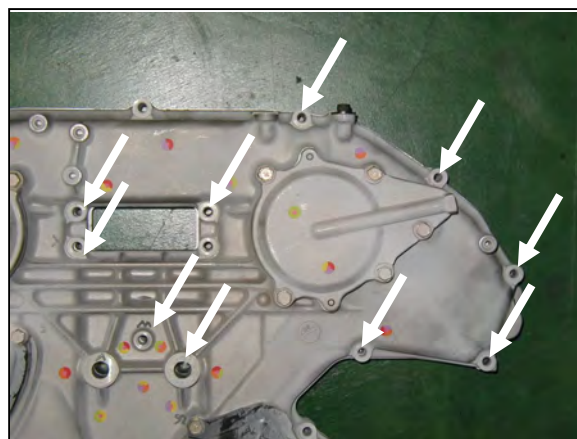
- ・ テンショナプーリー (φ84) (P16)
- ・ テンショナスペーサ (P17)
- ・ フランジ付きナット M10 (P85)
- ・ プレーンワッシャ M10 (P89)



(4) 矢印部分のボルト (純正 10 本) を取外してください。

アドバイス

- ・ 35th 記念モデル及び 2005 年 11 月以降のMT車の場合も同位置のボルトを取外してください。



- (5) S/C ブラケットNo.1 をエンジンに取付けてください。
その際、①のボルトをブラケットNo.6 と共締め、④のボルトをブラケットNo.7 と共締めしてください。

- ・ ブラケットNo.6 (P29)
- ・ ブラケットNo.7 (P30)
- ・ キャップボルト M6 L100 (P71×3)
- ・ キャップボルト M12 L120 (P75)
- ・ ボタンボルト M6 L60 (P78×6)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87×9)
- ・ プレーンワッシャ M12 (P90)

図中①②

(ボタンボルト M6 L60, プレーンワッシャ M6)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=11.7~13.7(1.2~1.4)

図中③

(キャップボルト M6 L100, プレーンワッシャ M6)

締付けトルク N・m(kgf・m)

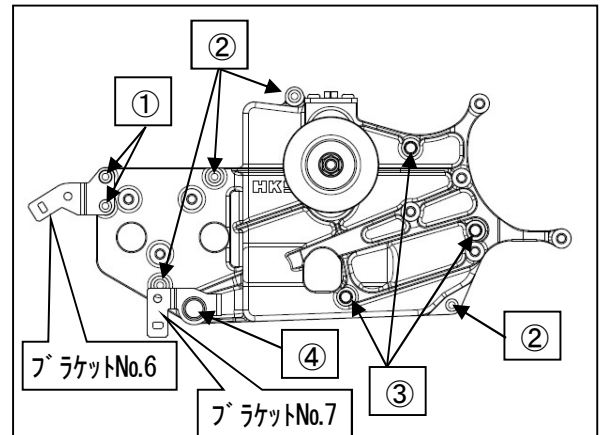
T=11.7~13.7(1.2~1.4)

図中④

(キャップボルト M12 L120, プレーンワッシャ M12)

締付けトルク N・m(kgf・m)

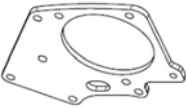
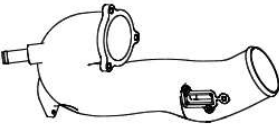
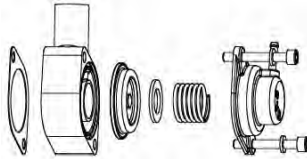
T=68.6~79.4(7.0~8.1)



5. スーパーチャージャーの取付け



パーツリスト

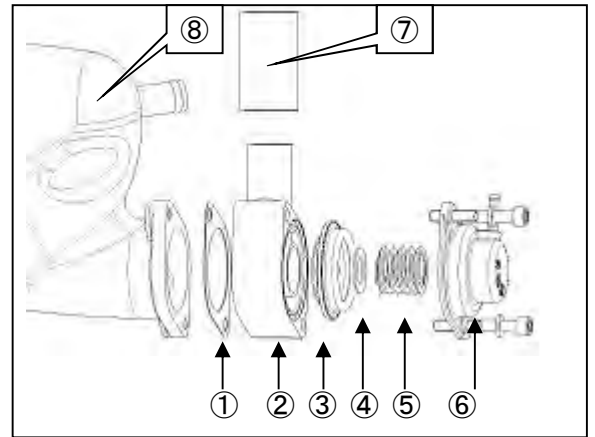
		No.	品名	数量
 P1	 P9	P1	GT2-7040	1
		P9	S/C ブラケット No.2	1
 P38	 P46	P38	パイプ No.1	1
		P45	スパーサ No.6 (φ10-φ4-t2)	2
		P46	ガスケット	1
		P48	ホース φ8 L3000	1
		P49	ホース φ16 L150	1
		P50	ホース φ22 L70	1
		P51	ホースクランプ φ13.0	1
		P53	ホースクランプ φ23.0	2
		P63	キャップボルト M4 L12	2
		P67	キャップボルト M6 L20	3
		P73	キャップボルト M8 L25	5
		P74	キャップボルト M8 L35	3
		P79	ホースバンド #16	1
		P87	プレーンワッシャ M6	3
		P88	プレーンワッシャ M8	8
		P91	リリーフバルブ Assy	1
 P91		P93	ジョイントパイプ φ16	1

- (1) ②のボディローに⑦のホースφ22 を突当たるまで挿入し取付けてください。

- ・ リリーフバルブ Assy (P91)
- ・ ホースφ22 L70 (P50)
- ・ ホースバンド#16 (P79)

- (2) ①のガスケット, ②のボディロー, ③のダイヤフラム, ④のシム, ⑤のスプリング, ⑥のボディアッパの順で⑧のパイプに取付けてください。

- ・ リリーフバルブ Assy (P91) 内
 - ガスケット
 - ボディロー
 - ダイヤフラム
 - シム
 - スプリング
 - ボルト M6 L45
 - プレーンワッシャ M6



アドバイス

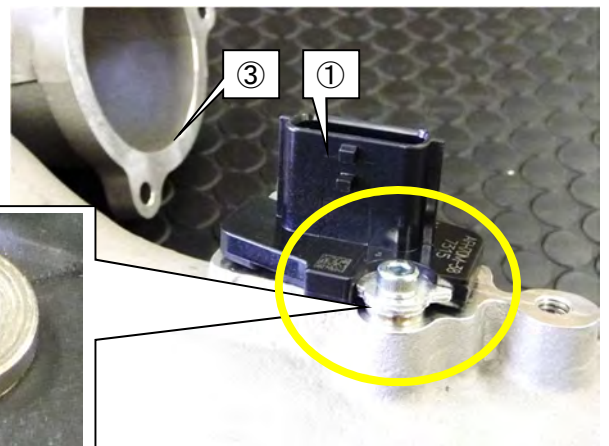
- ・ ④のシムは適切なリリーフ動作のため、必ず入れてください。

- (3) 2. (4) で取外した①の純正エアフロセンサを②のスペーサ No.6 (φ10 - φ4 - t2) を挟んで、③のパイプNo.1 に取付けてください。

- ・ パイプ No.1 (P38)
- ・ スペーサ No.6 (φ10 - φ4 - t2) (P45×2)
- ・ キャップボルト M4 L12 (P63×2)
- ・ エアフロセンサ (純正)

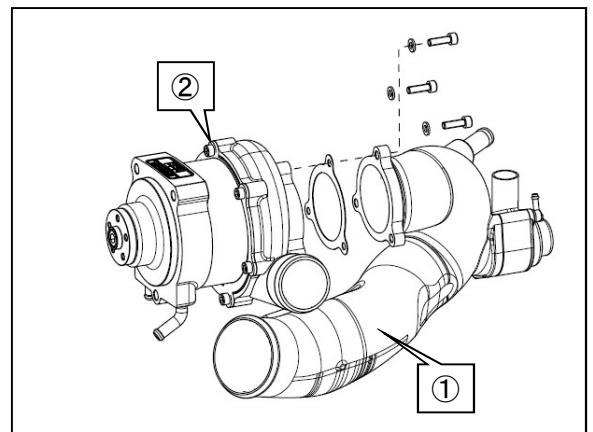


②スペーサ No.6
(φ10 - φ4 - t2)



- (4) ①のパイプNo.1 を②の GT2-7040 に取付けてください。

- ・ GT2-7040 (P1)
- ・ キャップボルト M6 L20 (P67×3)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87×3)
- ・ ガスケット (P46)



- (5) GT2-7040 とエアフロセンサで S/C ブラケットNo.1 を挟み込むようにして、GT2-7040 を S/C ブラケットNo.1 の上に載せてください。



- (6) ①のエアフロセンサのコネクタを接続してください。

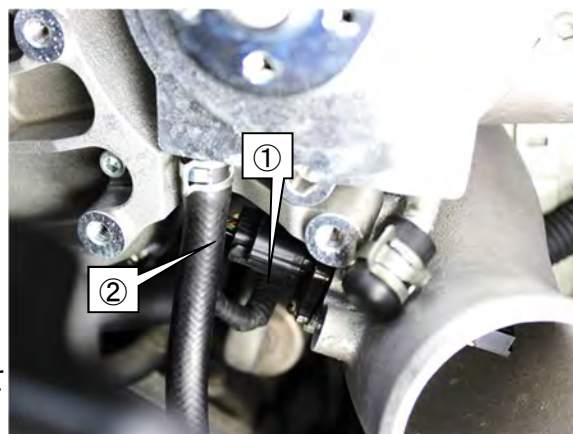
- (7) ホースφ8 L=3000 を 2230 mmに切断してください。
切断した残りのホースφ8 は 9. (9)の作業で使します。

・ホースφ8 L3000 (P48)

- (8) (7)で 2230 mmに切断したホースφ8 を GT2-7040 に接続してください。(図中②)

・ホースクランプφ13.0 (P51)

- (9) ゴミなどが入らないように、ホースφ8 の他端に栓をしてください。



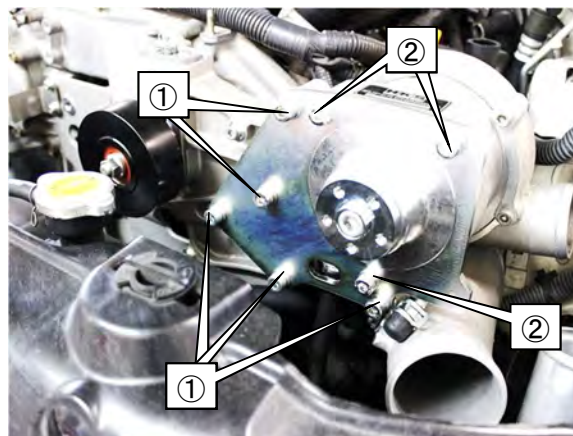
- (10) GT2-7040 を S/C ブラケットNo.1 に取付けてください。

- ・S/C ブラケットNo.2 (P9)
- ・キャップボルト M8 L25 (P73×5)
- ・キャップボルト M8 L35 (P74×3)
- ・プレーンワッシャ M8 (P88×8)

締付けトルク N・m(kgf・m)

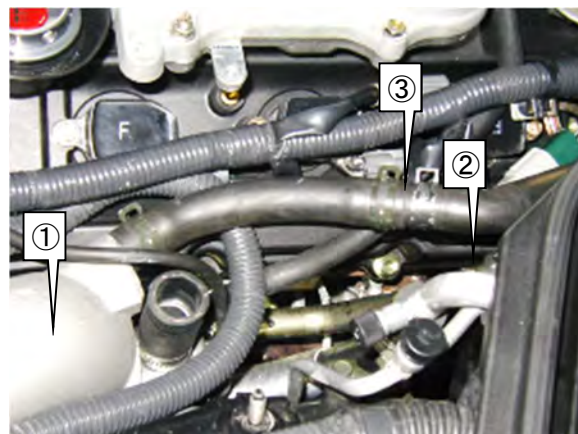
図中① (M8 L25) : T=19.6~24.5 (2.0~2.2)

図中② (M8 L35) : T=29 (3.0)

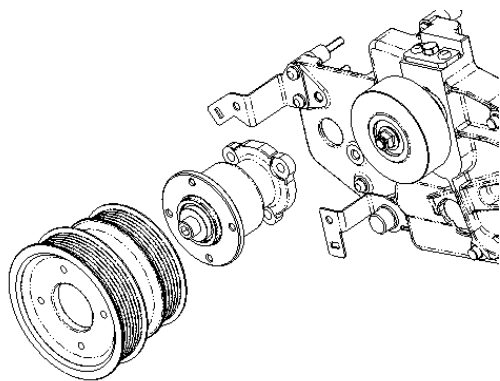


- (11) ①のパイプNo.1 と②の純正のブローバイリターンホースを③ジョイントパイプφ16 を使い接続してください。

- ・ホースクランプφ23.0 (P53×2)
- ・ジョイントパイプφ16 (P93)
- ・ホースφ16 L150 (P49)



6. アイドラプーリーの取付け



パーツリスト

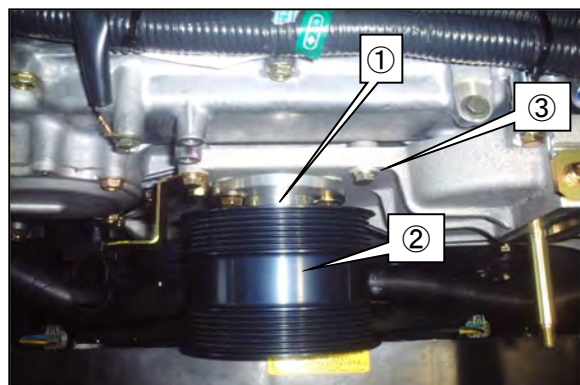
	パーツリスト		
	No.	品名	数量
	P14	アイドラプーリーNo.1 (φ115-φ102)	1
	P15	ベアリング Assy	1
	P21	ベルト 6PK 1700	1
	P31	ブラケットNo.8	1
	P61	六角ボルト M8 L20	3
	P64	キャップボルト M6 L12	2
	P66	キャップボルト M6 L18	4
	P84	フランジ付きナット M6	2
	P87	プレーンワッシャ M6	6
	P88	プレーンワッシャ M8	3

- (1) ①のベアリング Assy に②のアイドラプーリーNo.1 を被せた状態で、ベアリング Assy を③の S/C ブラケットNo.1 に取付けてください。

- ・アイドラプーリーNo.1 (φ115-φ102) (P14)
- ・ベアリング Assy (P15)
- ・六角ボルト M8 L20 (P61×3)
- ・プレーンワッシャ M8 (P88×3)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=19.6~24.5(2.0~2.2)



アドバイス

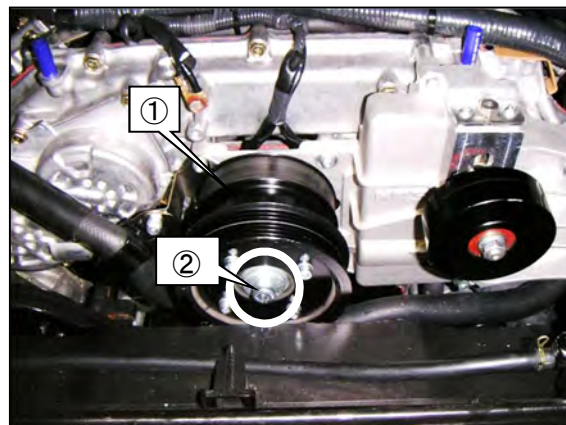
- ・ベアリング Assy のみ先に取付けた場合、後からアイドラプーリーNo.1 を取付けることはできません。

- (2) ①のアイドラプーリーNo.1 をベアリング Assy に取付けてください。
キャップボルト M6 L18 を締め付ける際、ベアリング Assy のキャップボルト M10 (図中②) に六角レンチ (8mm) を掛け、周り止めをした状態でトルクを掛けてください。

- ・キャップボルト M6 L18 (P66×4)
- ・プレーンワッシャ M6 (P87×4)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=11.7~13.7(1.2~1.4)



注意

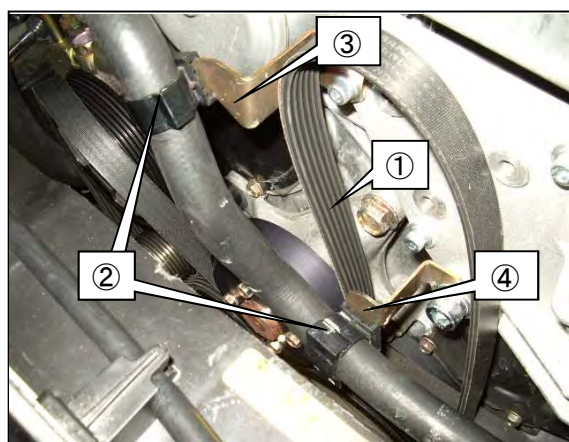
- ・キャップボルト M6 L18 の本締めは必ずここで行ってください。次で取付けるベルト 6PK1700 を取付けた後に本締めを行った場合、適切な締付け力が得られず、キャップボルト M6 L18 が破損し、運転中にアイドラプーリーNo.1 が脱落する可能性があります。
- ・必ずトルクレンチを使用してボルトの締付けを行ってください。締付け力が不足または高すぎた場合、キャップボルト M6 L18 が破損し、運転中にアイドラプーリーNo.1 が脱落する可能性があります。

- (3) ①のベルト 6PK 1700 をアイドラプーリーNo.1 に取付けてください。
・ベルト 6PK 1700 (P21)

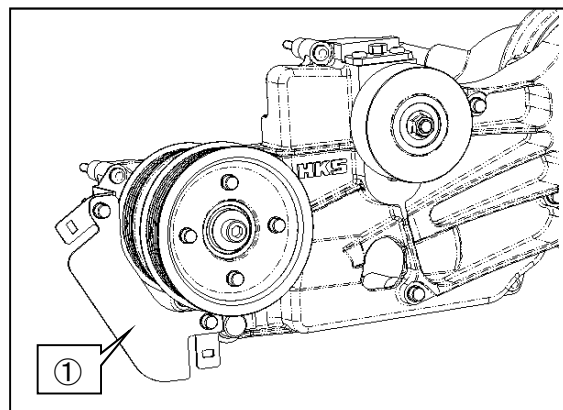
- (4) ②のウォータホースのクリップを③のブラケットNo.6、④のブラケットNo.7 に取付けて、クリップでウォータホースを固定してください。

アドバイス

- ・ウォータホースの固定後、ベルト 6PK 1700 をアイドラプーリーNo.1 にかけることはできません。



- (5) ①のブラケットNo.8 を取付けてください。
・ブラケットNo.8 (P31)
・キャップボルト M6 L12 (P64×2)
・フランジ付きナット M6 (P84×2)
・プレーンワッシャ M6 (P87×2)



7. インタークーラーの取付け



パーツリスト

P32

P33

P5

No.	品名	数量
P5	インタークーラー	1
P32	ブラケットNo.9	1
P33	ブラケットNo.10	1
P57	シリコンホース φ60 L70	1
P65	キャップボルト M6 L15	1
P72	キャップボルト M8 L12	2
P81	ホースバンド#36	1
P82	ホースバンド#40	1
P84	フランジ付きナット M6	1
P87	プレーンワッシャ M6	1
P88	プレーンワッシャ M8	2

- (1) ①のシリコンホースφ60 を②のインタークーラーに取付けてください。

- ・インタークーラー (P5)
- ・シリコンホースφ60 L70 (P57)
- ・ホースバンド#36 (P81)

- (2) ③のブラケットNo.9 を②のインタークーラーに仮付けしてください。

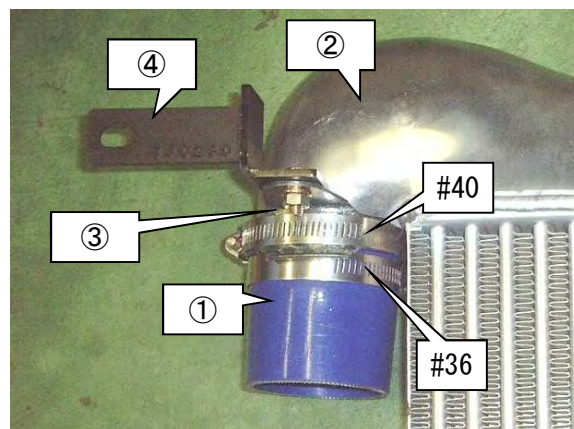
- ・ブラケットNo.9 (P32)
- ・ホースバンド#40 (P82)

アドバイス

- ・ホースバンド#40 がインタークーラーの抜止めに乗らないようにしてください。

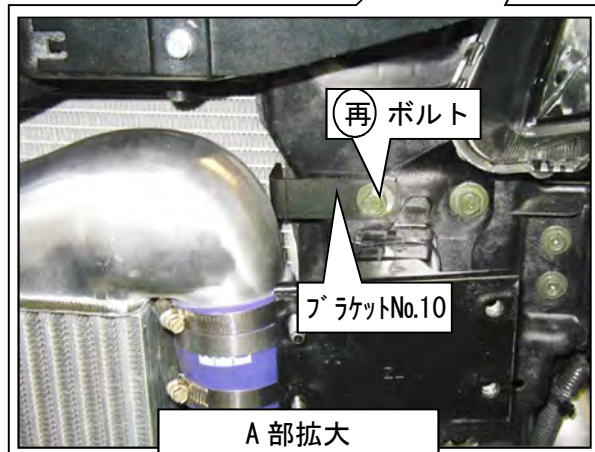
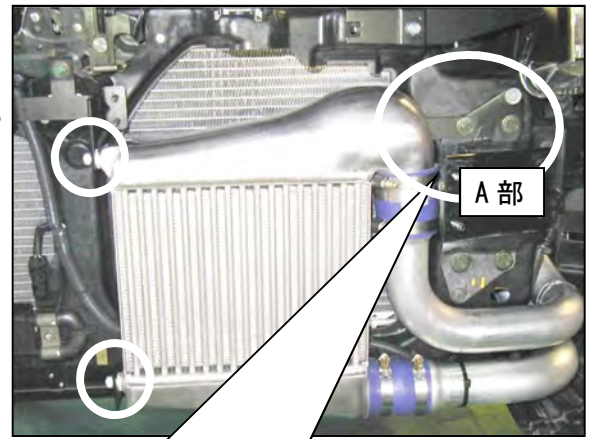
- (3) ④のブラケットNo.10 を③のブラケットNo.9 に仮付けしてください。

- ・ブラケットNo.10 (P33)
- ・キャップボルト M6 L15 (P65)
- ・フランジ付きナット M6 (P84)
- ・プレーンワッシャ M6 (P87)

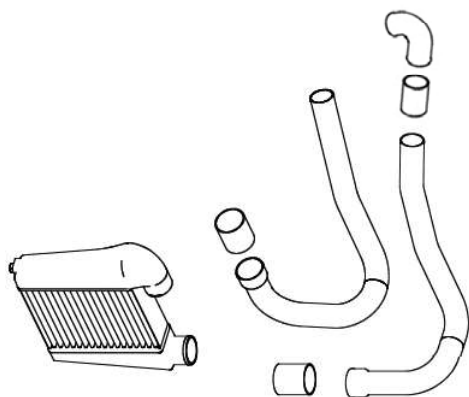


- (4) インタークーラーを取付けてください。
ブラケットNo.9、ブラケットNo.10 は、インタークーラーと
バンパレインフォースの干渉がないことを確認してから
本締めしてください。

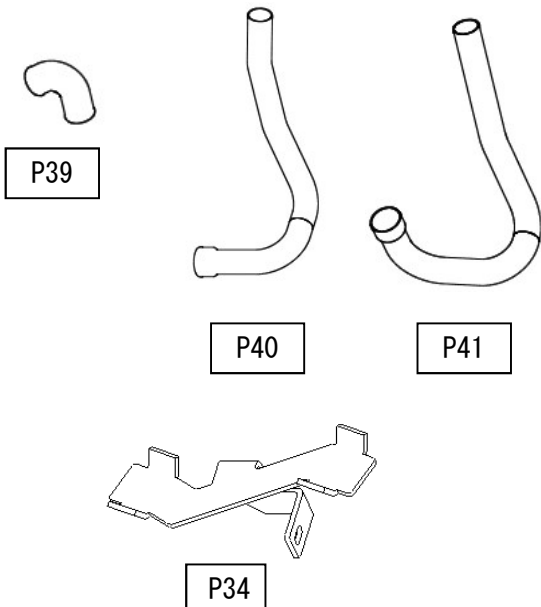
- ・ キャップボルト M8 L12 (P72×2)
- ・ プレーンワッシャ M8 (P88×2)



8. インタークーラーパイプの取付け①

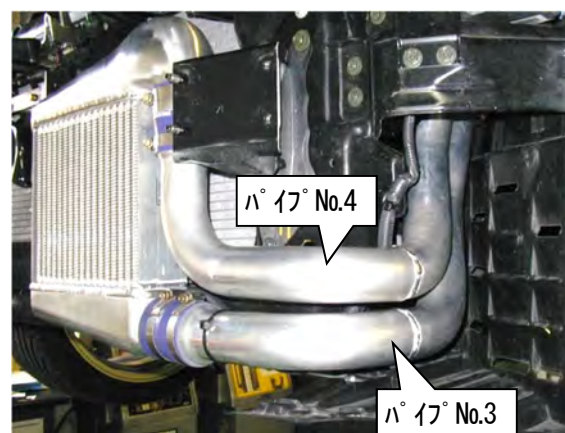


パーツリスト

	パーツリスト		
	No.	品名	数量
	P34	ブラケットNo.11	1
	P39	パイプNo.2	1
	P40	パイプNo.3	1
	P41	パイプNo.4	1
	P57	シリコンホース φ60 L70	1
	P59	シリコンホース φ50 L70	2
	P80	ホースバンド#28	6
	P81	ホースバンド#36	3
	P92	インシュレータラバー	2
	P96	タイラップ(中)	
	P97	タイラップ(小)	

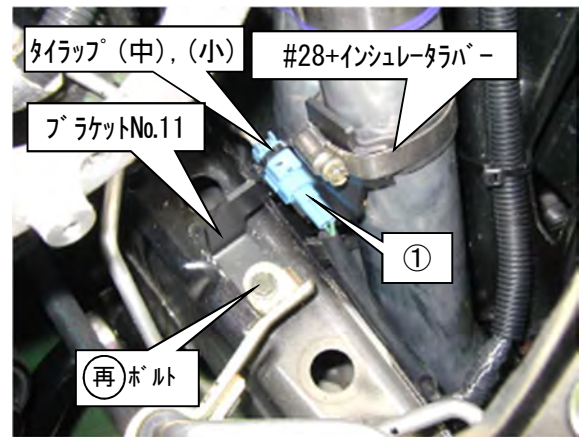
(1) パイプNo.3, No.4 をインタークーラーへ取付け、ブラケットNo.11 で固定してください。

- ・ ブラケットNo.11 (P34)
- ・ パイプNo.3 (P40)
- ・ パイプNo.4 (P41)
- ・ シリコンホース φ60 L70 (P57)
- ・ ホースバンド #28 (P80×2)
- ・ ホースバンド #36 (P81×3)
- ・ インシュレータラバー (P92×2)



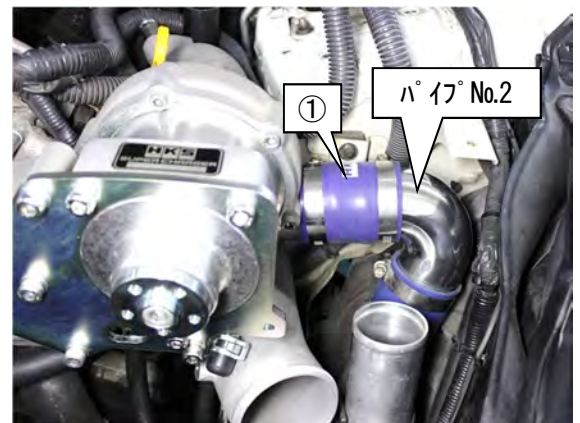
(2) ①の純正カップラをブラケットNo.11 に固定してください。

- ・タイラップ(中) (P96)
- ・タイラップ(小) (P97)
- ・ボルト(純正)



(3) パイプNo.2 で GT2-7040 とパイプNo.3 を接続してください。
この際、図中①のシリコンホースφ50 L70 は 60 mmに
切断して取付けてください。

- ・パイプNo.2 (P39)
- ・シリコンホースφ50 L70 (P59×2)
- ・ホースバンド#28 (P80×4)



9. トラクションフルードタンク・フルードクーラーコアの取付け



パーツリスト

パーツリスト

P3

P4

P6

P47

P27

P28

P35

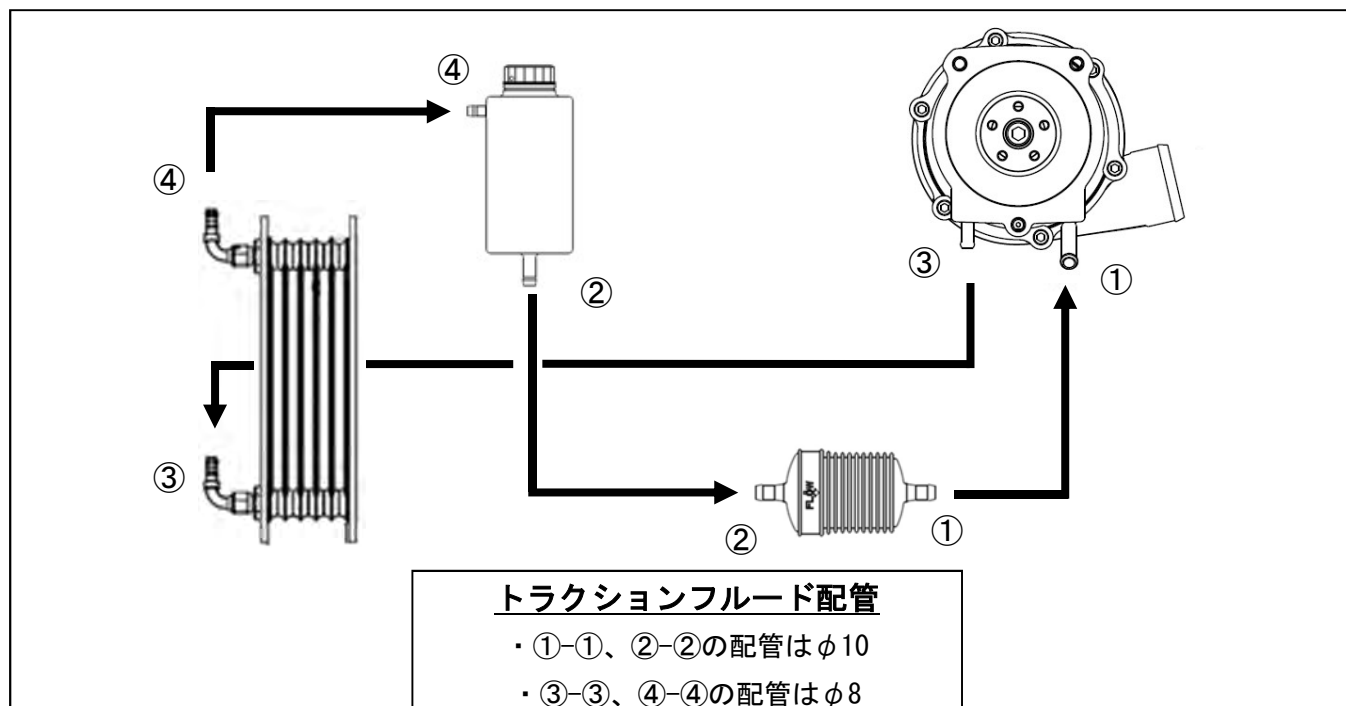
P36

No.	品名	数量
P3	フルードクーラーコア	1
P4	フィッティング	1
P6	フルードタンク	1
P27	ブラケットNo.4	1
P28	ブラケットNo.5	1
P35	ブラケットNo.12	1
P36	ブラケットNo.13	2
P47	ホース Assy φ10 L2500	1
P48	ホース φ8 L3000	1
P51	ホースクランプ φ13.0	3
P52	ホースクランプ φ15.5	2
P56	シリコンホース φ70 L20	2
P65	キャップボルト M6 L15	8
P83	ホースバンド#48	2
P84	フランジ付きナット M6	8
P86	プレーンワッシャ M6 大径	4
P87	プレーンワッシャ M6	4
P95	タイラップ(大)	
P96	タイラップ(中)	
P97	タイラップ(小)	

アドバイス

- ・トラクションフルードに異物が混入すると、スーパーチャージャーが破損します。
フルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないよう、ホース端、ニップルには栓をして作業を行ってください。

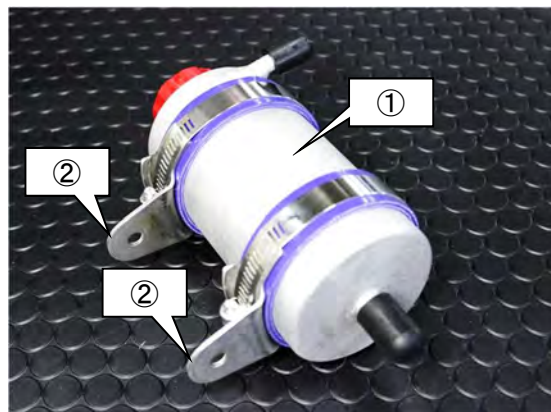
○下図にトラクションフルード配管図を示します。以降の作業は下図を参照し、配管の間違いないように作業を行ってください。



(1) ①のフルードタンク内に異物が無いことを確認してください。

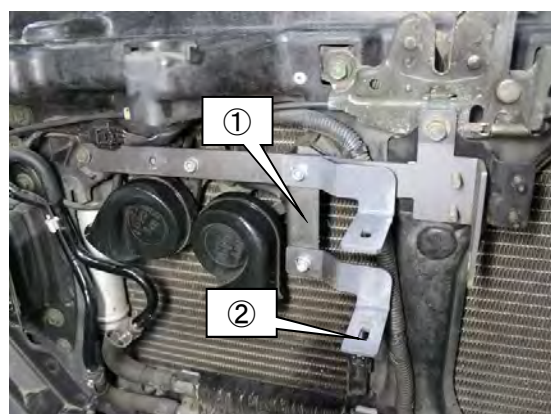
(2) ①のフルードタンクに②のブラケットNo.13 を取付けてください。

- ・ ブラケットNo.13 (P36×2)
- ・ ホースバンド#48 (P83×2)
- ・ シリコンホースφ70 L20 (P56×2)



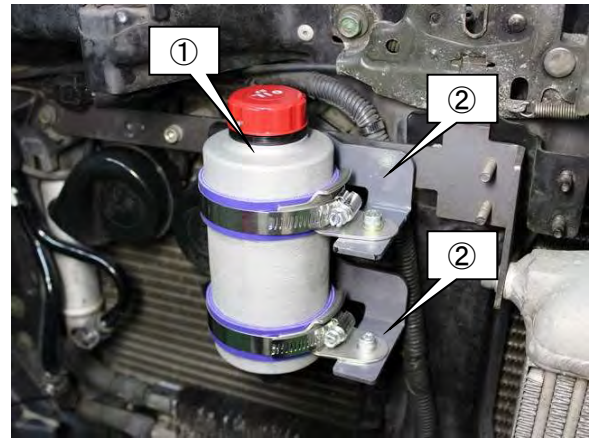
(3) ①のブラケットNo.1 に②のブラケットNo.5 を取付けてください。

- ・ ブラケットNo.5 (P28)
- ・ キャップボルト M6 L15 (P65)
- ・ フランジ付きナット M6 (P84)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87)



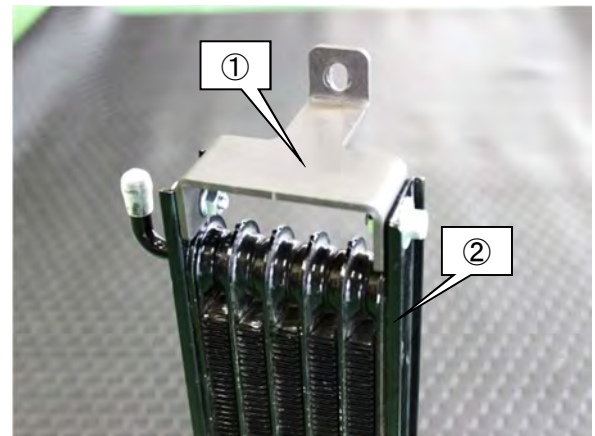
- (4) ①のフルードタンクを②のブラケットNo.5 へ取付けてください。

- ・ キャップボルト M6 L15 (P65×2)
- ・ フランジ付きナット M6 (P84×2)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87×2)

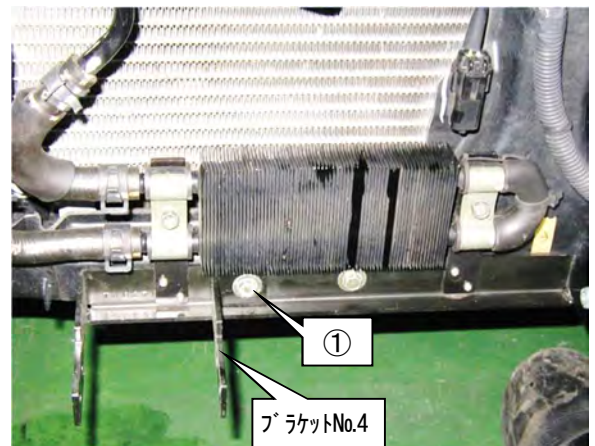


- (5) ①のブラケットNo.12 を②のフルードクーラーコアに取付けてください。

- ・ ブラケットNo.12 (P35)
- ・ キャップボルト M6 L15 (P65×2)
- ・ フランジ付きナット M6 (P84×2)
- ・ プレーンワッシャ M6 大径 (P86×2)



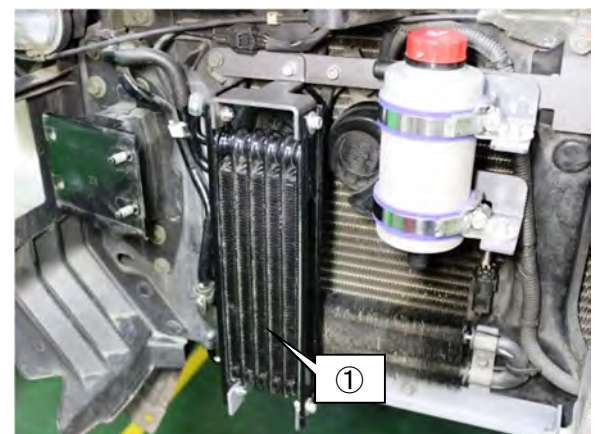
- (6) ①のブラケットNo.4 を固定している①のボルトを緩めてください。



- (7) ①のフルードクーラーコアを車両に取付けてください。

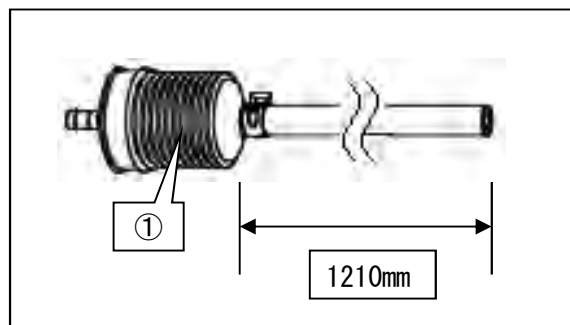
- ・ キャップボルト M6 L15 (P65×3)
- ・ フランジ付きナット M6 (P84×3)
- ・ プレーンワッシャ M6 大径 (P86×2)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87)

- (8) (6) で緩めたボルトを締めてください。



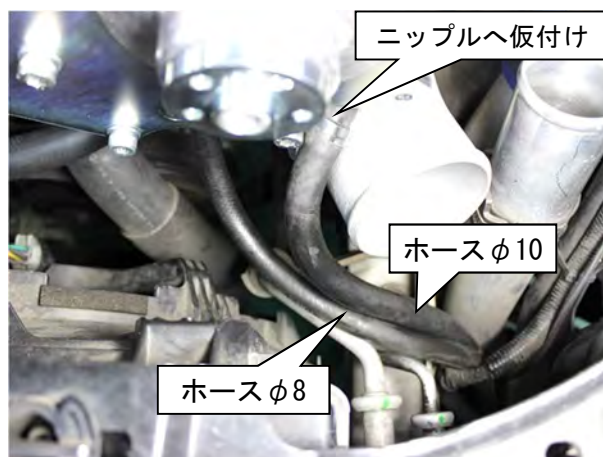
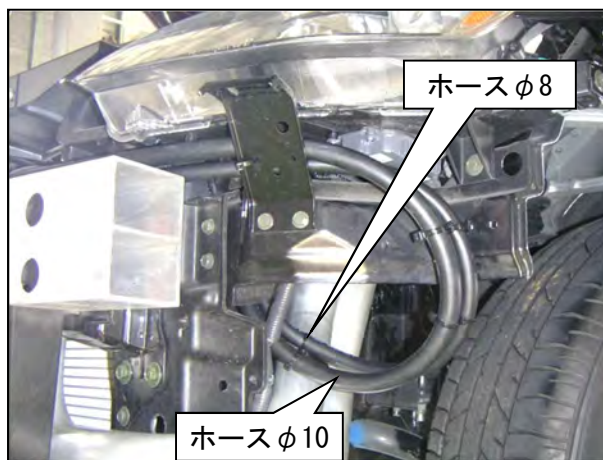
- (9) 5. (7)で切断したホースφ8 L3000の残りを250 mmに切断してください。
・ホースφ8 L3000 (P48)

- (10) ①のホース Assyφ10のホースをフルードフィルタ側から1210 mmで切断してください。
・ホース Assyφ10 (P47)



- (11) GT2-7040に接続したホースφ8をサイドメンバー上からヘッドライト下を通してラジエータ前へ導いてください。
- (12) (10)で切断したホース Assyφ10をラジエータ前からヘッドライト下を通して、サイドメンバー上へ導いてください。
- (13) 9. (10)で1210 mmに切断したホース Assyφ10をGT2-7040に仮付けしてください。

※ホースクランプφ15.5 (P52)は、ここではまだ使用しません。

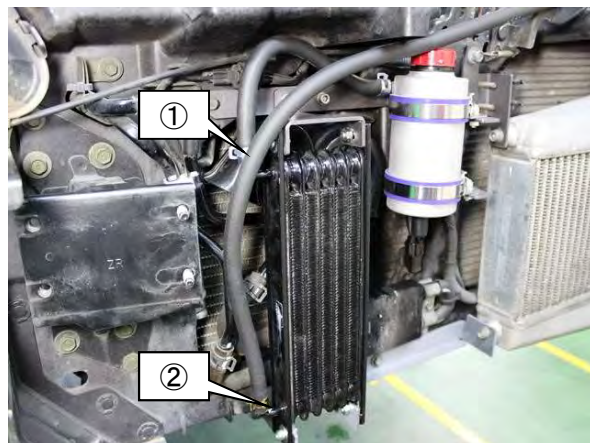


- (14) (9)で250 mmに切断したホースφ8とフィッティングを使用して、①のフルードクーラーコア上側のニップルとフルードタンクを接続してください。

- ・フィッティング (P4)
- ・ホースクランプφ13.0 (P51×2)

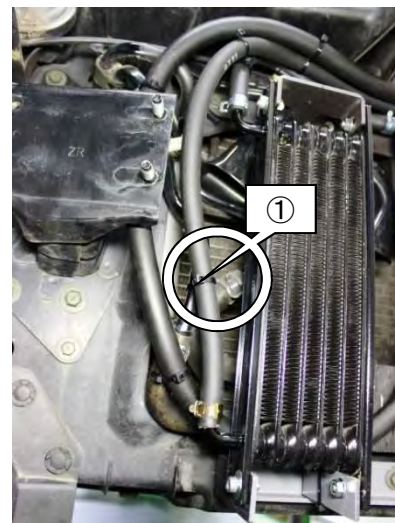
- (15) フィッティングを使用して、5. (8)でGT2-7040に取付けたホースφ8を②のフルードクーラーコア下側のニップルに接続してください。

- ・フィッティング (P4)
- ・ホースクランプφ13.0 (P51)



- (16) ①のホースφ8をパワステフルードパイプに固定してください。

- ・タイラップ(中) (P96)
- ・タイラップ(小) (P97)

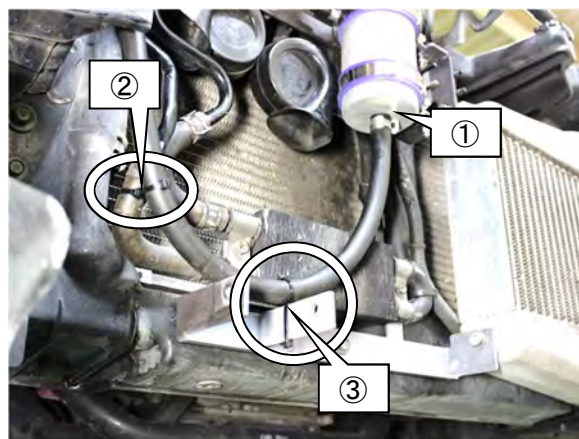


- (17) 9. (10)で切断したホース Assyφ10の残りを1250 mmに切断し、フルードフィルタと①のフルードタンクを接続してください。

この際、1250 mmのホースφ10は、フルードクーラーコアの裏側を通し、②のパワステフルード配管および③のブラケットNo.4へタイラップで固定してください。

- ・ホースクランプφ15.5 (P52×2)
- ・タイラップ(中) (P96)
- ・タイラップ(小) (P97)

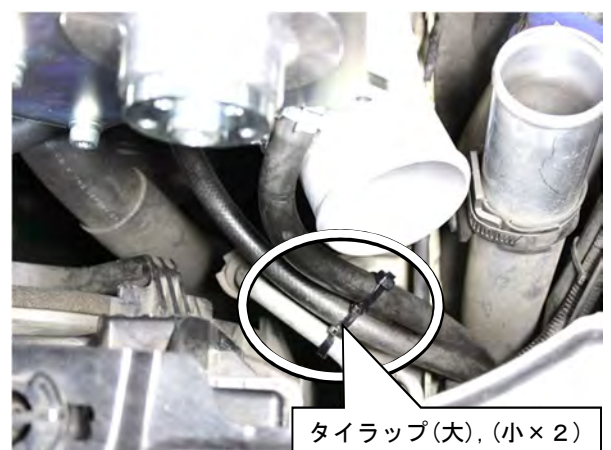
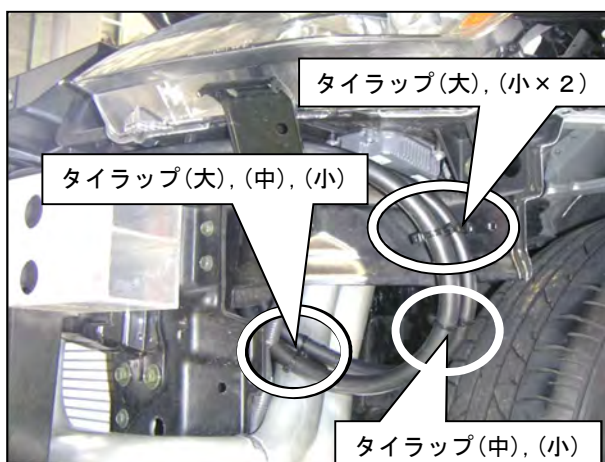
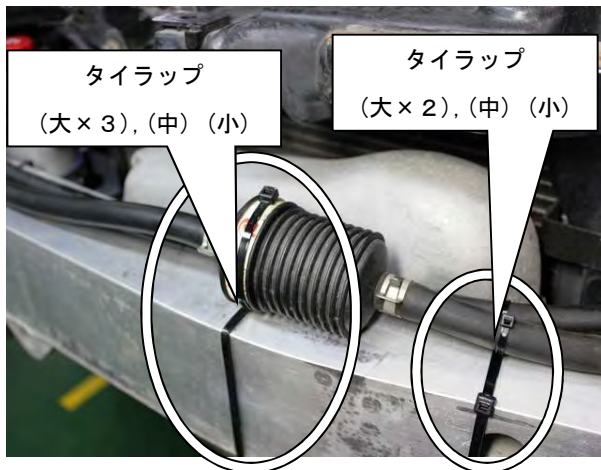
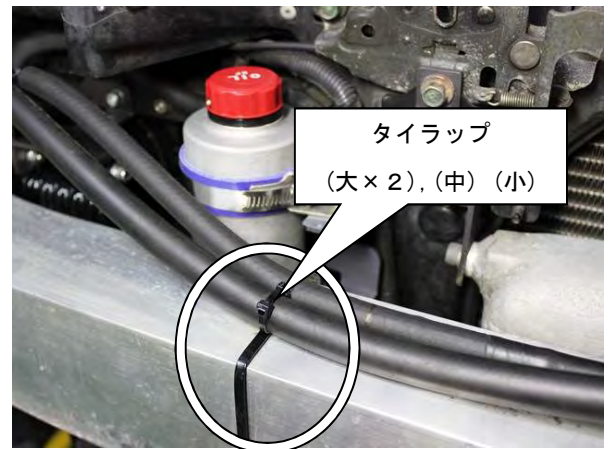
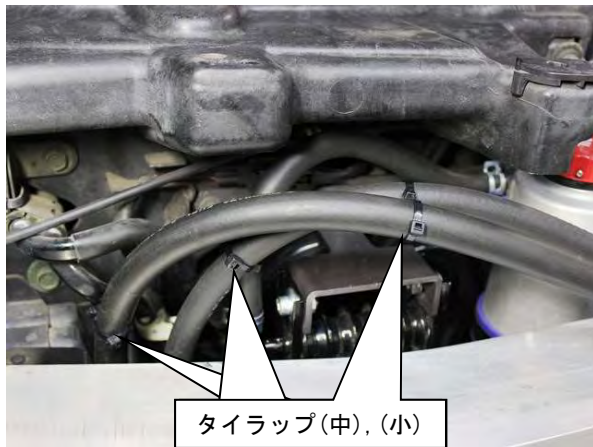
※) 写真は説明のためにフルードクーラーコアを外した状態です。



- (18) バンパレインフォースを取付けてください。

(19) ホースφ8、ホースφ10、フルードフィルタを車両に固定してください。

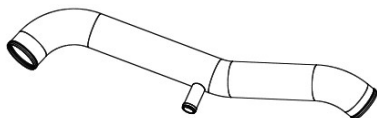
- ・タイラップ(大) (P95)
- ・タイラップ(中) (P96)
- ・タイラップ(小) (P97)



10. インタークーラーパイプの取付け②



パーツリスト

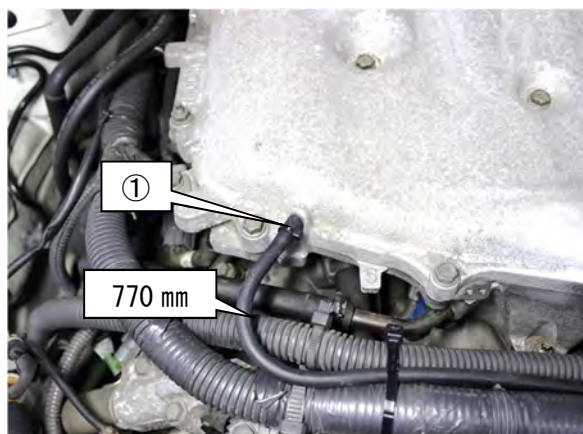
 P42	No.	品名	数量
	P42	パイプNo.5	1
	P55	シリコンホースφ80-φ60	1
	P58	シリコンホースφ60-φ50	1
	P60	ホースφ4 L1000	1
	P79	ホースバンド#16	1
	P80	ホースバンド#28	1
	P81	ホースバンド#36	2
	P83	ホースバンド#48	1
	P95	タイラップ(大)	
	P97	タイラップ(小)	

(1) ホースφ4 を 770mm に切断してください。

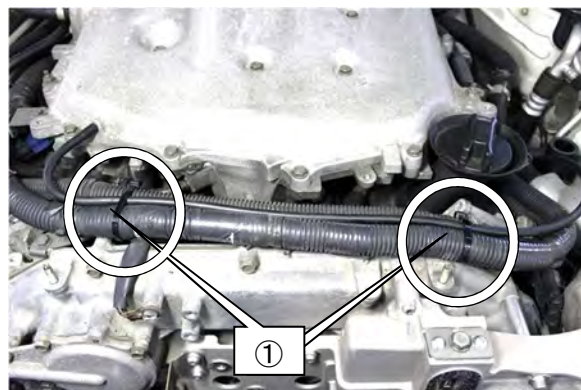
・ホースφ4 L1000 (P60)

(2) インテークマニホールド, アッパーに取付けてあるプラグ(図中①の部分)を取外し、770 mmに切断したホースφ4 でインテークマニホールド, アッパーと②のリリーフバルブを接続し、タイラップ(小)で固定してください。

・タイラップ(小) (P97)



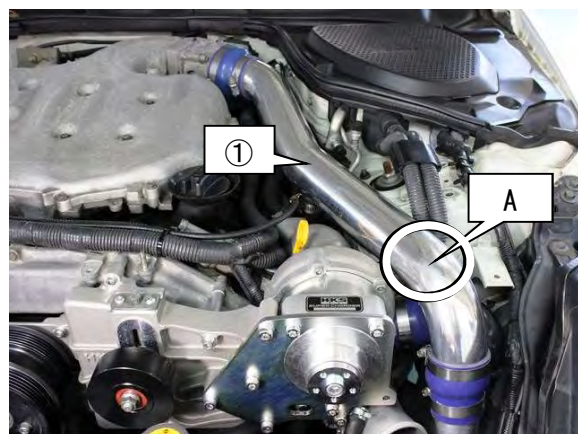
- (3) ホースφ4を、ホースを潰さないように①のハーネスと束ねてください。
- ・タイラップ(大) (P95)



- (4) ①のパイプNo.5を取付けてください。
- ・パイプNo.5 (P42)
 - ・シリコンホースφ80-φ60 (P55)
 - ・シリコンホースφ60-φ50 (P58)
 - ・ホースバンド#16 (P79)
 - ・ホースバンド#28 (P80)
 - ・ホースバンド#36 (P81×2)
 - ・ホースバンド#48 (P83)

アドバイス

- ・ 図中 A 部がボンネットと干渉しないようにパイプの位置出しを行なってください。



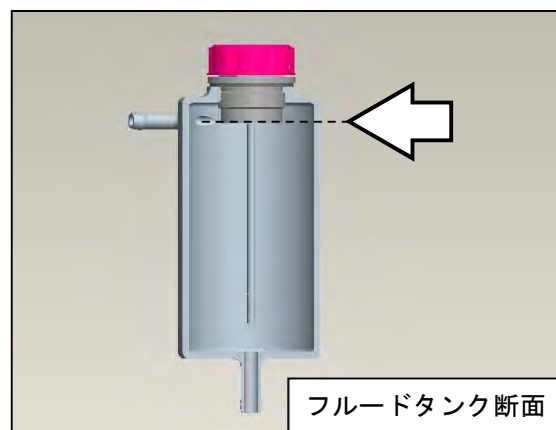
1 1. トラクションフルードの注入

パーツリスト				
	P7	No.	品名	数量
		P7	トラクションフルード	1
		P52	ホースクランプφ15.5	1

アドバイス

- ・本作業を実施せずにエンジンを始動した場合、スーパーチャージャー内部が破損する恐れがありますので、必ず作業を行なってください。
- ・スーパーチャージャーの内部構成部品は精密部品です。トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーが破損します。トラクションフルード配管の作業中、ホースやタンクに異物が混入しないように作業を行なってください。

- (1) フルードタンク内に異物が無い事を確認し、
 図中矢印のフルードタンク内リターンパイプ下面まで、
 トラクションフルード（約 500ml）を注入して、
 キャップを一旦取付けてください。
 ※タンク容量は約 350ml であるため、始めに約 350ml
 注入し、油面が低下したのを確認して残りの 150ml
 を注入してください。
 ・トラクションフルード（P7）



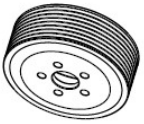
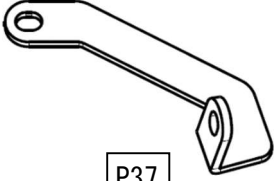
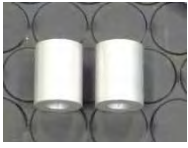
アドバイス

- ・ホースからトラクションフルードがあふれるため、
 ウェス等を準備して作業を行なってください。
- (2) 9. (13) で GT2-7040 に仮付けした①のホースφ10 を、
 取外してください。
 - (3) ホースクランプφ15.5 をホースφ10 に仮付けして
 ください。
 ・ホースクランプφ15.5（P52）
 - (4) フルードタンクのキャップを取外し、フルードタンクの
 口を清潔なウェスなどで塞いで、工場エアの圧を
 フルードタンクにかけ、トラクションフルードを圧送し
 てください。
 - (5) ①のホースφ10 からオイルがあふれてきたらホース
 φ10 を GT2-7040 に接続し、ホースクランプφ15.5 で
 固定してください。
 - (6) フルードタンクのキャップを取付けてください。



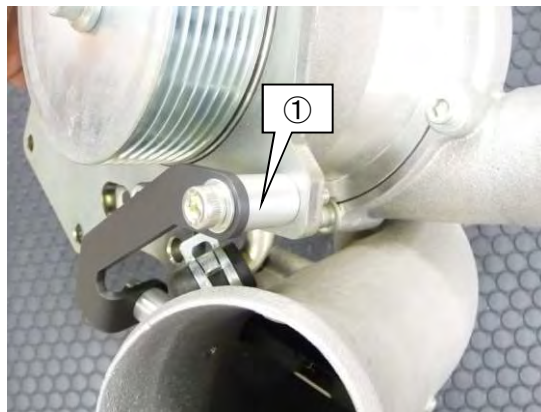
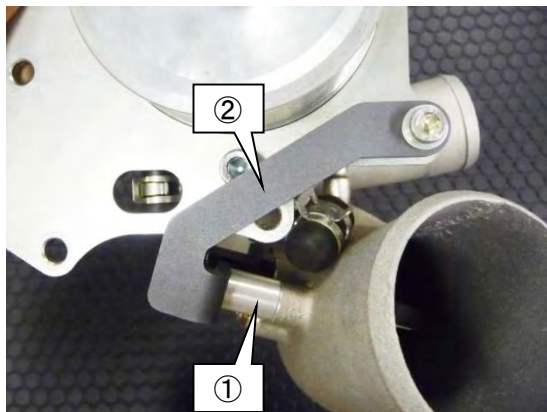
12. エアクリーナの取付け



パーツリスト			
	No.	品名	数量
	P2	S/C プーリー (φ95)	1
	P23	エアクリーナ	1
	P37	ブラケットNo.14	1
	P44	スペーサ No.5 (φ14 - φ6.5 - L18)	2
	P54	シリコンホースφ70 L55	1
	P68	キャップボルト M6 L30	1
	P69	キャップボルト M6 L40	1
	P76	低頭キャップボルト M6 L12	5
	P82	ホースバンド#40	1
	P83	ホースバンド#48	1
	P84	フランジ付きナット M6	1
	P87	プレーンワッシャ M6	2

(1) ①のスペーサ No.5 を介して、②のブラケットNo.14 を取付けてください。

- ・ ブラケットNo.14 (P37)
- ・ スペーサ No.5 (φ14 - φ6.5 - L18) (P44×2)
- ・ キャップボルト M6 L30 (P68)
- ・ キャップボルト M6 L40 (P69)
- ・ フランジ付きナット M6 (P84)
- ・ プレーンワッシャ M6 (P87×2)



(2) ①の S/C プーリーを GT2-7040 に取付けてください。

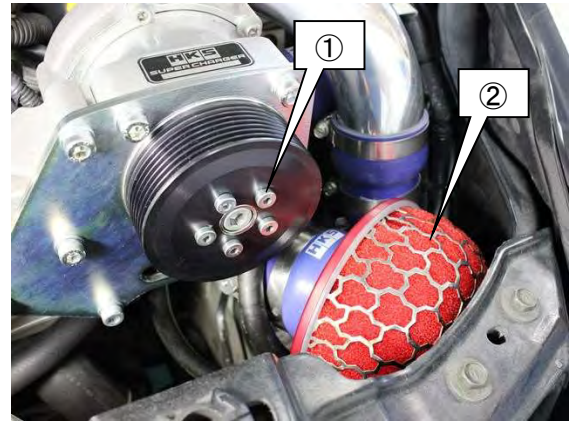
- ・ S/C プーリー (φ95) (P2)
- ・ 低頭キャップボルト M6 L12 (P76×5)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=12(1.22)

(3) ②のエアクリーナを、車両に接触しない位置で固定してください。

- ・ エアクリーナ (P23)
- ・ シリコンホースφ70 L55 (P54)
- ・ ホースバンド #40 (P82)
- ・ ホースバンド #48 (P83)



(4) エアクリーナと干渉しないように①のエアダクトを切取り、車両へ取付けてください。



1 3. ベルトの取付け

パーツリスト			
	No.	品名	数量
	P22	ベルト 7PK1060	1

- (1) ①のキャップボルト M6 L18 4本が、トルク 11.7～13.7 (1.2～1.4) N・m (kgf・m) で締付けてあることを再確認してください。



注意

- ・必ずトルクレンチを使用して、ボルトの締付けを確認してください。締付け力が不足または高すぎた場合、キャップボルト M6 L18 が破損し、運転中にアイドラプーリーNo.1 が脱落する可能性があります。

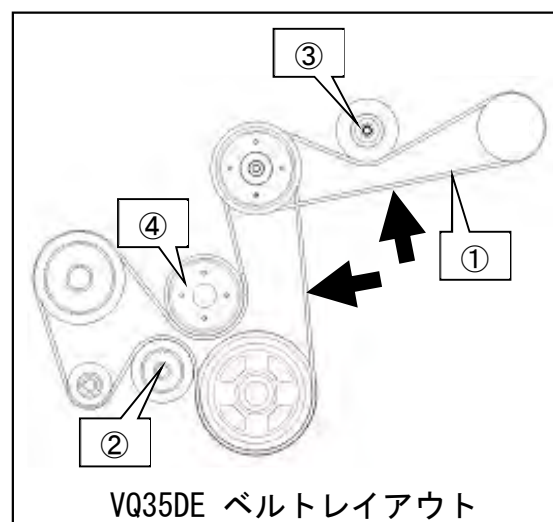


- (2) ①のベルト 7PK 1060 を取付けてください。
GT2-7040 に取付けた S/C プーリーは、8 リブのうち車両後方側の 7 リブを使用し、車両前方側の 1 リブが余るようにしてベルトを取付けてください。
・ベルト 7PK 1060 (P22)

- (3) 張力計を使用して、次頁表 1 ベルト張力の①新品時の張力でベルトを張ってください。
張力は各ベルトの図の矢印部で測定してください。

アドバイス

- ・ベルトの張力測定には株式会社三ツ星ベルト製 非接触型音波式張力計ドクターテンション タイプ-Ⅲをお勧めします。最寄での入手が困難な場合には弊社までお問い合わせください。



締付けトルク N・m (kgf・m)

純正アイドラ固定 ナット (図中②)
T=31.4～38.2 (3.2～3.9)

テンショナプーリー固定ナット (図中③)
T=31.4～38.2 (3.2～3.9)

- (4) アイドラプーリーNo.2 (図中④) のボルト M6 (4 本) を本締めしてください。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=5.9～9.8 (0.61～0.99)

アドバイス

- ・ベルトは使用開始後、使用状況により 2～20 時間で張力が安定します。張力安定後は次ページの“表 1 ベルト張力”の②使用中の基準値になるように点検、調整を行ってください。
使用開始直後はベルトの伸びも大きいため、こまめに点検、調整を行ってください。

表 1 ベルト張力

ベルト	ベルトスパン	①新品時 (N { kg })	②使用中 (N { kg })
6PK1700 (クランクプーリー側)	295mm	950 (97.0)	760 (77.6)
7PK1060 (スーパーチャージャー側)	348mm	790 (80.6)	630 (64.3)

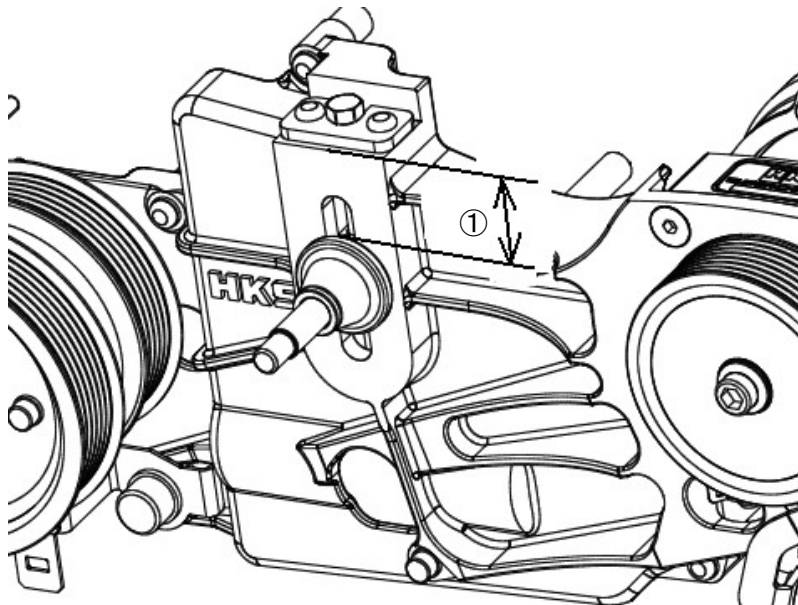
※ 1) ベルトスパンは、ベルトレイアウト図の矢印部で張力を測定する際の、プーリー軸間距離

※ 2) ベルトの比重 0.0188kg g / (1 リブ×1m 長さ)



注意

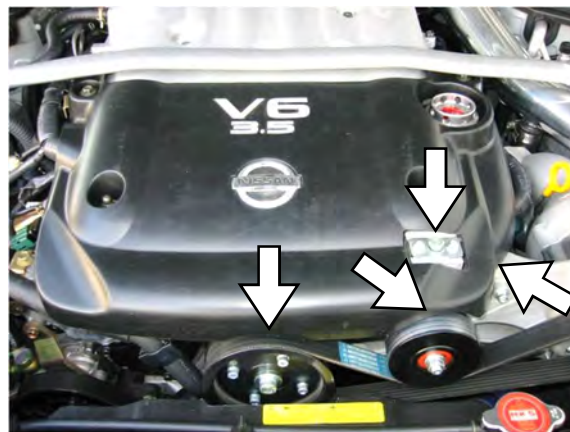
- ・ ベルトがプーリーの溝にしっかり合っていることを確認してください。
溝にしっかりとあっていない場合、ベルトが傷つき、破損する恐れがあります。
- ・ ベルト取付直後の張り点検は、基準値に調整後、プーリー間張力のバラツキをなくすため、クランクシャフトを 2 回転以上回して再測定し、基準値に調整してください。
- ・ オイル、冷却水等が付着しないように取扱ってください。
- ・ ベルトを規定値の張力で張っていないと、ボンネットとテンショナプーリーが干渉する場合があります。
ボンネットを閉じる前に、図中①の寸法が 35mm 以上であることを確認してください。



1 4. ノーマルパーツの取付け

- (1) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。
- (2) ホーンを 2~3 回鳴らし、ホーンのヒューズが切れないことを確認してください。
ヒューズが切れる場合にはホーンの配線が誤っている場合があります。
- (3) ホーンが作動することが確認できたら、バッテリーのマイナス端子を取外してください。
- (4) バンパを取付けてください。

- (5) エンジンカバーがスーパーチャージャーブラケット、プーリーと干渉する部分を切取り、エンジンに取付けてください。



- (6) ストラットタワーバーを取付けてください。

- (7) エンジンアンダーカバーを取付けてください。

アドバイス

- ・エンジンアンダーカバーは必ず取付けてください。

- (8) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

- (9) F-con iS や F-con Vpro などのセッティングツールを使用して、エンジンが始動できる環境を整えてください。

15. 取付け後の確認

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行なってください。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認してください。

	確認項目	確認
1	トラクションフルード配管が正しく行われているか。	
2	ハーネス及び取付けた部品が各部に干渉していないか。	
3	各ハーネスを強くはさんでいないか。	
4	ベルトが指定の張力で張られているか。	
5	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
6	トラクションフルードをフルードタンクに約 500ml 注入したか。	
7	パイプ・ホース類の配管が間違っていないか。	
8	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
9	ホースバンドが確実に締まっているか。	
10	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
11	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	
12	バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
13	エンジンオイルがレベルゲージのH～Lの間にあるか。	

(2) トラクションフルードをビーカー等に約 80ml 準備しておき、エンジンを始動してください。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施してください。

- フルードタンク内のフルードレベルが下がり始め、フルードタンクにトラクションフルードが戻ってくる事を確認してください。
 - フルードタンク内のトラクションフルードが無くならないよう、無くなる前にビーカー等に準備したトラクションフルードを継ぎ足してください。その際、タンクからあふれないようにしてください。
- ※ エンジン始動直後、暖気中にスーパーチャージャーから“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえます。これはトラクションフルードが暖まった約2～3分後に聞こえなくなるものであり、異常ではありません

(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認してください。

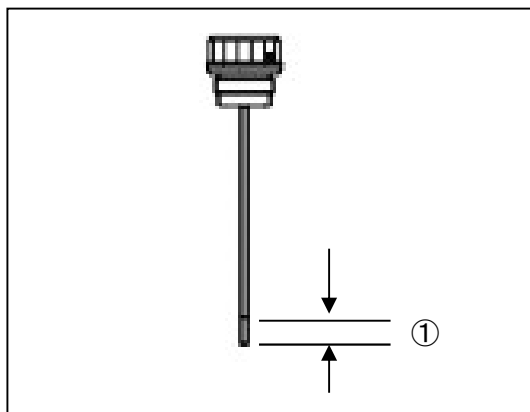
アドバイス

- ・暖気中はエンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドリング運転)

	確認項目	確認
1	フルードタンクにトラクションフルードが戻っているか。	
2	各部からトラクションフルード、エアが漏れていないか。	
3	ハーネス、ホース類が引っ張られていないか。	
4	部品による干渉音が無いか。	

(5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を 10 秒間 2000rpm に維持し、速やかにエンジンを停止して、トラクションフルードがレベルゲージの下端からマーキング（図中①）までの間にあるかを確認し、過不足を調整してください。

(6) トラクションフルードのレベル調整が終わったら、キャップを締めてください。



※残ったトラクションフルードはトラクションフルードが入っていた容器でキャップをして保存してください。

トラクションフルードは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。

以上で取付け作業は終了です。

16. 1ヶ月点検の実施

○ 製品を取付けてから1ヶ月後(40日以内)に添付の1ヶ月点検記録用紙に従い、下記の点検を実施してください。

記入方法

異常なし

レ

交換

×

調整

A

締付け

T

	点検項目	
1	<u>スーパーチャージャー本体の確認</u>  警告 - 作動音確認の際はベルトに手や指、衣服等が巻きこまれないようにしてください。 - ベルトに巻き込まれた場合、重症を負う可能性があります。 取付け時と比較してスーパーチャージャー駆動機構の作動音が大きくなっていたり、異音が発生していないか ☐ 取付け時と比較してエアクリーナからの吸気音が大きくなっていたり、異音が発生していないか ☐ トラクションフルードが異常に減少していないか (レベルゲージに液面が触れない程度まで) ☐	
2	<u>トラクションフルード配管の点検</u> トラクションフルード配管からの漏れ、ホースクランプの緩みがないか ☐ 確認箇所 - スーパーチャージャーとの接続部 ☐ - フルードクーラーとの接続部 ☐ - フルードタンクとの接続部 ☐ - フルードフィルタとの接続部 ☐ トラクションフルードホースに他部品との接触による損傷がないか ☐ トラクションフルードホースにひび、割れなどが生じていないか ☐ トラクションフルードがレベルゲージの下端からマーキングまでの間にあるか ☐	
3	<u>ベルトの点検</u> ベルトが指定の張力になっているか ☐ 6PK1700 760N (77.6kg・m) 以上 ☐ 7PK1060 630N (64.3kg・m) 以上 ☐ ベルトにひび、割れ、欠けなどの損傷がないか ☐ ベルトがブラケットNo.8に干渉していないか ☐	
4	<u>ボルトの締付け</u> スーパーチャージャーの取付けボルトが締まっているか ☐ プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締まっているか ☐	
5	<u>その他</u> ハーネス類が各部に干渉していないか ☐ 取付けた部品が各部に干渉していないか ☐ 確認箇所 - エアクリーナとラジエータ ☐ - パイプNo.5とボンネット ☐ - パイプNo.1とエアコンパイプ ☐ ホースバンドが確実に締まっているか ☐ エンジンオイルがレベルゲージのH～Lの間にあるか ☐	

17. 維持・管理

- トラクションフルードは HKS GT2 スーパーチャージャー専用品です。弊社指定のトラクションフルード以外は絶対に使用しないでください。弊社指定以外のトラクションフルードや、エンジンオイル、ミッションオイル等を使用した場合、HKS GT2 スーパーチャージャーの内部部品が破損します。



注 意

- トラクションフルードは交換不要ですが、運行前には油量の確認を行い、減少している場合にはトラクションフルードを補充してください。

- 補充用のトラクションフルードは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
GT S/C TRACTION FLUID I	12002-AK029

※-20℃以下の寒冷地で使用する場合は、下記品番のトラクションフルードをご使用ください。（別売）

商品名	品番
GT S/C TRACTION FLUID II	12002-AK030

- HKS GT2 スーパーチャージャー取付け後、5 年経過または走行距離が 70,000km を超えた場合はトラクションフルードのフィルタを交換してください。
トラクションフルードのフィルタは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
トラクションフルードフィルタ	12002-AK015

- リブベルトは消耗部品です。運行前点検時にひび、割れ、欠けなどの損傷がないか確認してください。損傷がある場合には交換してください。
・交換用のベルトは下記品番にて注文してください。

商品名	品番	備考
FINE TUNE V-BELT 6PK1700	24996-AK017	クランクプーリー側
FINE TUNE V-BELT 7PK1060	24996-AK023	スーパーチャージャー側

- エアクリーナは 2,000～3,000km 毎に交換してください。（洗浄はできません。）
使用環境や走行条件によって、この距離は異なります。また、特に汚れが目立つ場合は早めの交換が必要です。
・交換用のフィルタは下記品番にて注文してください。
・パワーフローリローデッド本体（コードNo.70019-AK002）及び乾式 3 層タイプφ150 交換用フィルタ（コードNo.70001-AK021）は使用しないでください

商品名	品番
φ150 交換用フィルタ （湿式 2 層タイプ）	70001-AK031（レッド）

- ブローオフバルブのペロフラムは6ヶ月ごとに点検してください。ペロフラムに亀裂や切れがあった場合は交換してください。
- 交換用のペロフラムは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
ブローオフバルブペロフラム	12002-AK040

18. 故障と判断する前に

- 本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配線・ベルト等の確認をしてください。

症状	原因	確認事項・対策
・ エンジン始動時にベルトが鳴く ・ エンジン出力が低下したように感じる ・ 全開加速時、エンジン回転が上昇しても、ある回転数から過給圧が低下する	ベルト張力低下	・ ベルト張力を指定値(13. ベルトの取付け 表1 参照)に張り直す ・ テンショナの調整代を使い切っても指定値に張り切れない場合は新品に交換
・ エンジン出力が低下したように感じる ・ 全開加速時、エンジン回転が上昇しても、ある回転数から過給圧が低下する	エアクリーナの寿命	・ 走行距離が 2,000km を超えている場合は新品に交換 ・ 使用状況により 2,000km 以下でも交換
・ テンショナプーリーのベアリングからグリスが飛散している。	余剰分グリスの流失	・ 封入したグリスの余剰分が、初期にベアリングのシールドから流失します。ウエス等で拭取ってください ・ 拭取っても流出が収まらない場合や、異音が出ている場合は取付けを行った販売店にお問い合わせください

19. ベルトが切れてしまった場合

- 車両を安全な場所へ移動し、走行に支障(切れたベルトによる他部品の損傷：オイル、冷却水配管、ハーネス等の破損)がないか確認してください。

走行に支障がない場合、低速走行(車速 60km/h 以下、E/G 回転数 2500rpm 以下程度)は可能ですが、切れたベルトにより状態が異なります。

○スーパージャー側 (7PK1060) が切れた場合

低速走行は可能です。安全な場所へ移動して原因を確認し、問題がなければ新品のベルトに交換してください。問題が発見された場合には適切な修理を行なってください。

○クランクプーリー側 (6PK1700) が切れた場合

オルタネータが駆動されないため、バッテリーが残っている間のみ低速走行は可能です。

また、パワーステアリングポンプが駆動されないため、ステアリングのアシストが無くなりステアリングが重くなります。安全な場所へ移動して原因を確認し、問題がなければ新品のベルトに交換してください。問題が発見された場合には適切な修理を行なってください。



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

<https://www.hks-power.co.jp/>